

関越自動車道（上越線）地域埋蔵文化財発掘調査報告書

行田二本杉遺跡

（八城南遺跡）

1997

日本道路公団
群馬県教育委員会
松井田町遺跡調査会

関越自動車道（上越線）地域埋蔵文化財発掘調査報告書

行田二本杉遺跡

（八城南遺跡）

1997

日本道路公団
群馬県教育委員会
松井田町遺跡調査会

序 文

上信越自動車道の建設に伴い、本調査会が発見したのは昭和62年11月のことでした。発掘調査では、縄文時代を中心に弥生、古墳、奈良、平安、中～近世と、私たちの祖先の足跡が間断なく発見されました。ここに至り、ようやくその成果を報告する次第であります。

縄文時代では、国内初の発見となった石棒製作跡の西野牧小山半遺跡をはじめ、早期土器を伴う横川大林遺跡、クッキー状炭化物が出上した行田大道北遺跡、弧状配石墓群の行田梅木半遺跡など、全国規模の重要遺跡が発見されました。また、縄文時代前期から平安時代までの集落である八城二本杉東遺跡、大型掘立柱建物跡の検出で古代東山道の駅家を示唆する原遺跡も注目を集めた遺跡でした。

本町においては、計11箇所の遺跡が発見された訳ですが、これらはこれまで調査されたものとともに、郷上の生い立ちを示す貴重な遺産であります。今でこそ電車や自動車、また飛行機でと、交通の利便性はとどまるどころを知りませんが、古くは碓氷峠の峠が行く者の前に大きく立ちはだかったことでしょう。縄文やそれ以前から人々の地域間の交流があったといわれるようですが、遺跡に見られる祖先達の営みの積み重ねの上に現代の私達の文化が成り立っているということ、このことをあらためて認識することが大切なのだと思います。

ここに刊行いたします報告書が、広く皆様に活用されることを祈念するとともに文化財に対する認識を深める一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査から整理作業を通じて御指導・御協力をいただいた日本道路公団、群馬県教育委員会、実務の全てを遂行された山武考古学研究所、また、調査に従事された全ての方々に厚く御礼を申し上げ、序文とさせていただきます。

平成9年3月

松井田町遺跡調査会
会長 武田 弘

例 言

1. 本書は開越自動車道(上越線)建設に伴い、事前調査された群馬県碓氷郡松井田町に所在する行田二本杉遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は日本道路公団の委託を受けた群馬県教育委員会の指導で、松井田町教育委員会に松井田町遺跡調査会を組織し、実施したものである。
3. 実際の発掘調査及び整理事業は、松井田町遺跡調査会より委託された山武考古学研究所が担当した。
4. 発掘調査時の遺跡名は事業名である「八城南遺跡」を使用していたが、整理事業時に遺跡所在地の大字・小字選記による正式遺跡名に変更された。なお、発掘調査対象地は一部妙義町内の行沢二本杉遺跡・中里原遺跡にまで及んでおり、この部分もあわせて発掘調査ならびに整理事業を実施したものである。
5. 遺跡の所在地・面積・調査期間・調査担当者は下記の通りである。

所在地：【行田二本杉遺跡】 群馬県碓氷郡松井田町大字行田字二本杉原東544他

【行沢二本杉遺跡】 群馬県甘楽郡妙義町大字行沢字二本杉408他

【中里原遺跡】 群馬県甘楽郡妙義町大字菅原字中里38の3他

面積：9,000㎡

調査期間：昭和63年8月9日～同年9月30日

調査担当者：千田幸生・長谷川一郎

6. 本書の編集は山武考古学研究所が行い、同所員の長井正秋が担当した。執筆分担は以下の通りである。
序章第1節……………飯塚 聡(群馬県教育委員会) 序章第2・3節…山口 修(松井田町教育委員会)
第1章・第2章…千田幸生・長井正秋 其他……………長井正秋
付編1……………パブリノ・サーヴェイ株式会社 付編2……………鈴木正男(立教大学理学部)
7. 本書に掲載した遺構写真は発掘調査担当者が撮影した。また、遺跡全景写真は青高館に依頼して空撮で行った。遺物写真は長井が撮影した。
8. 発掘調査における、基準点測量・水準測量・全体遺構測量等は開成測量に依頼した。
9. 本遺跡以外の松井田町内開越自動車道(上越線)関連遺跡の自然科学分析については、別途『自然科学分析編』が刊行されるが、黒曜石分析結果については出土地点を明記したものを付編2に掲載した。
10. 本遺跡に関わる出土遺物・図面・写真等の資料は、松井田町教育委員会が一括して保管している。
11. 発掘調査から報告書刊行に至るまで、下記の諸機関・諸氏にご指導・ご協力をいただいた。(敬称略)
群馬県教育委員会 群馬県埋蔵文化財調査事業団 妙義町教育委員会 大上原直
12. 調査参加者は下記の通りである。

【発掘調査】

大野ひろ子 小林節子 都丸孝江 飯塚栄司 上原ヒサ 小坂橋守 小泉美津子 加藤農二 金井輝秋
酒井善三郎 高橋きくの 田中今造 田村綾子 谷口英夫 土屋育太郎 藤巻ちよ子 藤巻勝江 馬場
ツヤ子 庭植吟子 毛利ヨシ江 山口・男 岩井明美 高橋みさ子 平石信好 古谷久子 松本芳
三田今朝次 古川勝蔵 松本博 入村きよ子 小坂橋静乃 上原伸吾 坂本文吉 佐藤友江

【整理調査】

秋山京子 菅野栄子 坂本秀美 佐久間亜美 根本時子 三宅美智子 山口トモ子 梅山淳 石田満理
磯洋子 今成勝子 岡田うめ 小林ちか子 半澤利江

凡 例

1. 本書で使用した地形図の発行者・縮尺は、各図キャプション脇に示した。

2. 遺構の記載について

(1) 遺構名・遺構番号

遺構名・遺構番号は、基本的に現地調査時のものをそのまま使用しているが、現地調査時に1号住居跡としたものは検討の結果、6号土坑に変更した。

(2) 縮尺・方位

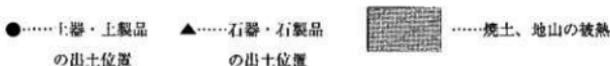
遺構挿図は、全体図を1/1,000縮尺で掲載し、各遺構は住居跡・土坑1/60、炉跡・集石土坑1/30縮尺を基本とし、各挿図にはスケールを付してある。図中の北方位は座標北を示す。四家座標値（第Ⅷ系）は全体図に示してある。

(3) 計測値等

遺構の規模は基本的に中軸線上で計測し、竪穴住居跡は壁面下端で、集石土坑・土坑は上端での数値である。床面積は1/20縮尺の原因をもとにデジタルプランメーターを用いた3回計測平均値である。遺構の深さ（残存深度）は確認面から床面・底面までの深さを示す。長軸方位は座標北を基準とした振れを示している。土層図・エレベーション図の基準線数値は標高を示す。

(4) 記号・スクリーントーン

遺構挿図中に使用した出土遺物の記号・スクリーントーンは次のような意味を示す。



3. 遺物の記載について

(1) 縮尺・遺物番号、等

各遺物の縮尺は下記を基本として掲載し、挿図中にスケールを付した。遺物写真は遺物挿図とはほぼ同縮尺である。遺物番号は本文・挿図・観察表・写真図版と一致する。

縄文土器・石器……1/3・1/1 古墳時代の土器……1/4 土製品……1/2

(2) 遺物観察の記載

出土遺物の計測値や観察事項は観察表にまとめた。

土器観察表の計測値で（ ）で示したものは推定値である。土器・土製品の色調は『新版標準土色帖』（16版、1995、財団法人日本色彩研究所色票監修）を用いて観察した。土器・土製品の胎土はルーペを用いて観察し、特徴的なものを記した。

石器の重さはデジタル秤で計測した。

(3) スクリーントーン

遺物挿図中に使用したスクリーントーンは次のような意味を示す。



目 次

序 文 例 言 凡 例 序 章

第1節	調査に至る経緯	1
第2節	遺跡の位置と考古学的環境	3
第3節	調査会の経過	9
第1章	遺跡の立地と基本層序	
第1節	遺跡の立地	11
第2節	基本層序	11
第2章	調査の方法と経過	
第1節	発掘調査	13
第2節	整理調査	13
第3章	遺構と遺物	
第1節	概要	15
第2節	縄文時代	
(1)	住居跡	15
(2)	集石土坑	22
(3)	土 坑	22
(4)	遺構外出土遺物	22
第3節	古墳時代	25
	遺物観察表	34
第4章	まとめ	
第1節	縄文時代	36
第2節	古墳時代	36
付編1	行田二本杉遺跡の炭化材同定	37
付編2	関越自動車道（上越線）関連遺跡の黒曜石分析結果	39
抄録		44

写真図版

挿 図 目 次

第1図	松井田町地形図	2	第14図	集石土坑、土坑①	23
第2図	松井田町遺跡分布図	5	第15図	土坑②	24
第3図	遺跡の位置	11	第16図	土坑・遺構外出土遺物	24
第4図	基本層序	11	第17図	2号住居跡①	26
第5図	行田二本杉遺跡の位置	12	第18図	2号住居跡②	27
第6図	行田二本杉遺跡全体図	14	第19図	6号住居跡①	28
第7図	3号住居跡①	16	第20図	6号住居跡②	29
第8図	3号住居跡②	17	第21図	5号住居跡	30
第9図	4号住居跡①	18	第22図	2号住居跡出土遺物①	31
第10図	4号住居跡②	19	第23図	2号住居跡出土遺物②	32
第11図	4号住居跡・炉跡	20	第24図	5号住居跡出土遺物	33
第12図	3号住居跡出土遺物	20	第25図	6号住居跡出土遺物	33
第13図	4号住居跡出土遺物	21			

写真図版目次

P L 1	遺跡の位置と周辺の地形	P L 6	2号住居跡遺物出土状態全景
P L 2	遺跡全景		2号住居跡
P L 3	3号住居跡	P L 7	2号住居跡・炉跡
	4号住居跡		同・貯蔵穴
P L 4	1号集石土坑		同・遺物出土状態①
	1号集石土坑完掘		同・遺物出土状態②
	1号土坑		同・遺物出土状態③
	2号土坑		同・遺物出土状態④
	3号土坑		同・炭化材検出状態①
	4号土坑		同・炭化材検出状態②
	5号土坑	P L 8	縄文時代出土遺物
	基本土層	P L 9	2号住居跡出土遺物①
P L 5	5号住居跡	P L 10	2号住居跡出土遺物②
	6号住居跡・炉跡		5号住居跡出土遺物
	6号住居跡土層		6号住居跡出土遺物
	6号住居跡遺物出土状態		
	6号住居跡		

序 章

第1節 調査に至る経緯

上信越自動車道（関越自動車道上越線）は、首都圏と上信越地方とを結ぶ高速自動車国道として、東京都練馬区を起点とし、新潟県上越市に至る総延長約280km（このうち練馬～蕨間インター間80.4kmは関越自動車道新海線との重複区間）が日本道路公団によって建設されている。なお、平成5年3月27日には、蕨間～佐久間インター間69.5kmが供用されており、その後平成7年11月には佐久～小諸間インター間10.8kmが供用され、そして平成8年11月14日には小諸インター～更埴ジャンクション間36.8kmが供用されて長野自動車道と接続し、現在偶州中野インターまでが供用されている。本県内は、蕨間市・多野郡吉井町・甘楽郡甘楽町・富岡市・甘楽郡下仁田町・甘楽郡妙義町・碓氷郡松井田町の各市町を通過する。

本県部分の埋蔵文化財発掘調査にかかわる上信越自動車道蕨間～佐久間については、昭和47年に基本計画が策定され、同54年に建設大臣より日本道路公団が施工命令を受けている。そして同56年には、蕨間市・吉井町・甘楽町・富岡市・下仁田町（東部）・妙義町・松井田町（東部）の路線が発表され、翌57年には松井田町（西部）・下仁田町（西部）・長野県佐久市までの路線が発表された。

上信越自動車道にかかわる群馬県内の埋蔵文化財の取り扱いと調査経過、ならびに松井田町における埋蔵文化財発掘調査の経緯は以下の通りである。

昭和49年度 蕨間市～下仁田町間に存在する埋蔵文化財について、群馬県教育委員会は県企全部幹線交通課に対し、文化財保護法の遵守、国・県・市町村の各指定文化財を避けること、文化財に関係する事項は県教育委員会文化財保護課と協議すること、等の考え方を示す。

昭和54・55年度 県教育委員会文化財保護課は、路線通過地周辺の埋蔵文化財包蔵地の状況をまとめ、県企全部交通対策課により、「関越自動車道上越線関連公共事業調査報告書」として報告される。

昭和59年度 建設工事の具体化に伴い、日本道路公団から県教育委員会に対し、路線内の埋蔵文化財に関する具体的な調査の依頼がなされ、県教委文化財保護課は包蔵地の詳細分布調査を実施した。

昭和60年度 県教育委員会は分布調査の結果、包蔵地を「遺物分布の濃い部分」「遺物分布の薄い部分」「試掘調査を必要とする部分」に区分、発掘調査必要面積を約100万㎡と想定し、5遺跡を認定した（後の試掘調査によって52遺跡に変更）。そして、埋蔵文化財発掘調査に関する基本方針を次のように策定した。

①発掘調査終了年度は昭和66年度とする。

②発掘調査は群馬県埋蔵文化財調査事業団を中核機関とし、対応できない部分については調査会方式を導入し、関係市町には進捗状況を考慮しながら協力を求める。

③調査関係別対応面積は次のとおり。

・埋文事業用：富岡市以東の約76万㎡（面積は変動の可能性あり）。

・調査会：下仁田町・妙義町・松井田町の約22万㎡（面積は変動の可能性あり）。

◎発掘調査事業実施方法：日本道路公団東京第二建設局が群馬県教育委員会に対し発掘調査の依頼を行い、年度毎に委託契約を締結する。県教育委員会はこれを受けて、群馬県埋蔵文化財調査事業団ならびに各遺跡調査会に対し、再委託のたがいで委託契約を締結し、それぞれ発掘調査を実施する。

昭和61年度 4月 群馬県埋蔵文化財調査事業団により4遺跡にて発掘調査が開始された。

昭和62年度 11月 松井田町遺跡調査会が設立され、年度末3月より発掘調査を開始（～平成3年度迄）

平成4年度 発掘調査の終了した各遺跡について整理事業を開始する。

平成8年度 各遺跡の整理報告書が刊行となり、松井田町遺跡調査会の全事業が終了する。

第2節 遺跡の位置と考古学的環境

松井田町は群馬県の南西部に位置し、西側は碓氷峠・入山峠・和美峠を境に長野県北佐久郡軽井沢町に接している。松井田町の地形は山地・丘陵・河岸段丘面に大別され、北西部・西部及び南西部には山地が囲み、それぞれの山地から流れる各河川沿いに丘陵や段丘が形成されている。

また、松井田町の市街地から西北西26kmには浅間山が位置し、有史以前から度重なる噴火を繰り返してきた。この降下火山灰・軽石は、遺構の年代決定の指標にもなっている。

松井田町を流れる主要河川には、碓氷川・九十九川・増田川などがあり、それぞれ並行するように南東流している。丘陵地には、長者久保丘陵・松井田丘陵・西横野丘陵・細野丘陵などがある。河岸段丘は、碓氷川流域・九十九川流域・増田川流域に形成されている。

長者久保丘陵は、剣の峰から地蔵峠を経て南東方向に延び、安中市板鼻まで続く当地方最大の丘陵地で、碓氷郡と群馬郡との分水嶺となっている。松井田丘陵は、剣の峰から松井田城跡を経て安中市名山へと延びるもので、南面を碓氷川及びその支流に、北面を九十九川及びその支流に浸食されている。西横野丘陵は、碓氷川南岸の丘陵で、碓氷郡と甘楽郡との郡境をなし、碓氷谷と簞谷との分水嶺になっている。同丘陵は表妙義の山麓から派生し、源ヶ原・行田・越泉・上人見を経て、安中市へと続いている。なお、妙義山地の白雲山から流下する猫淵川・柳瀬川が西横野丘陵を東流している。

平坦な地形は、おもに碓氷川・九十九川・増田川流域南側の丘陵上及び河岸段丘上に分布し、この平坦地を中心に遺跡が分布している。以下、各時代ごとに本地域の遺跡を概観する。

旧石器時代

行田大道北遺跡(2)から細石核が出土しているが、旧石器の検出は極めて少ない状況にある。本地域では、浅間山噴火に伴う浅間-板鼻黄色軽石(YP層:約13,000~14,000年前)や浅間-板鼻褐色軽石(BP層:約18,000~21,000年前)が厚く堆積し、遺物の検出が困難なことにも起因していると考えられる。また、碓氷川右岸の上位段丘では地表下8~9mで広域火山灰の始良-Tn火山灰(AT層:約24,000~25,000年前)が確認される。なお、安中市の古城遺跡で、AT層前後の局部磨製石斧・ナイフ形石器が出土している。

縄文時代

今回の上信越自動車道関連の発掘調査において、当該期遺跡の状況が多数明らかにされた。

碓氷川右岸では、八城二本杉東遺跡(1)・行田大道北遺跡(2)・行田梅木平遺跡(3)・新堀東源ヶ原遺跡(4)が調査されている。八城二本杉東遺跡では、前期関山式期の住居跡が円形柱穴列を取り囲むように検出された。行田大道北遺跡では、早期押型文期の住居跡1軒・前期黒浜式諸磯式期を中心とする集落跡・後期初頭の数軒住居跡などが検出されている。また、前期の遺構からクッキー状炭化物が出土している。行田梅木平遺跡では、中期末葉から後期にかけて形成されたとみられる弧状列石と配石墓群が3群検出され、西方に位置する妙義山を意識して構築された可能性が指摘されている。新堀東源ヶ原遺跡は、中期初頭~末葉の大規模な集落跡であるが、前期花楨下層式期の住居跡及び同時期とみられる滑石製品・未製品・砕片などが大量に検出され、工務跡の可能性も考えられている。同遺跡では、早期押型文期の住居跡も検出されている。

碓氷川左岸では、前期諸磯式・後期加曾利B式期の住居跡や後期の配石墓が検出された五科野ヶ久保遺跡(6)、早期熱糸文期末の住居跡が検出された横川大林遺跡(8)が調査されている。

碓氷川支流の入山川左岸では、西野牧小山平遺跡(11)から石棒製作跡が発見され、注目されている。同製

作跡は、浅間D軽石と思われる橙色軽石の直下で検出されており、中期後半の時期が想定されている。

上信越自動車道開通以外でも、前～晩期の遺物が出土した千駄木岩陰遺跡(24)、敷石住居跡4軒など検出された仁田遺跡(23)、後期初頭の敷石住居跡と環状列石が検出された森井遺跡(22)、前期関山式期の住居跡が検出された八城赤羽模遺跡(18)、後期前半の敷石住居跡が検出された二軒在家二本杉遺跡(17)などの遺跡が調査されている。

弥生時代

碓氷川右岸では、上人見遺跡(13)で再葬墓に使用したとみられる土器が出土しているほか、八城二本杉東遺跡でもほぼ同時期の遺構・遺物が検出されている。また、行田梅水平遺跡では東海地方西部の水神平式と思われる竈が出土している。さらに、松井田工業団地遺跡(15)でも中期後半の住居跡が調査されている。

碓氷川左岸では、五科稲荷谷戸遺跡(7)から中期初頭の岩櫃山式土器が出土している。

細野丘陵東端に位置する国衛遺跡(27)では、中期後半から後期の住居跡3軒が調査されている。

古墳時代

松井田町地域の古墳は、『上毛古墳総覧』(1938、群馬県)に63基が記載されており、松井田・西横野・塚原・九十九・細野地区などに後期～終末期を中心とした古墳群がある。増田川右岸に位置する下増田上田中遺跡(83)の1号古墳は、T字状の横穴式石室を有するもので円筒埴輪や須恵器が出土している。同古墳は出土遺物などから6世紀前半(初頭)の築造とみられ、県内における横穴式石室受容期の古墳と考えられる。同様の横穴式石室は、九十九川流域の安中市・後園3号墳にもみられる。なお、碓氷川流域には安中市に、同じく横穴式石室受容期の前方後円墳である築瀬二子塚古墳がある。

集落跡は、松井田工業団地遺跡や国衛遺跡などで後期の住居跡が調査されている。また、入山神社記遺跡(89)では、4世紀代から6世紀代の土師器・滑石製模造品が多量に検出されている。なお、同遺跡での祭祀は、奈良・平安時代まで継続するようである。

奈良・平安時代

原遺跡(10)では、布振りを施す大形の掘立柱遺物跡が検出され、東山道の坂本駅跡の一部と推定されている。なお、東山道は入山峠越え・碓氷峠越えの二説がある。また、五科稲荷谷戸遺跡では、浅間B軽石が埋没上下層に堆積する大規模な溝状遺構が検出されている。

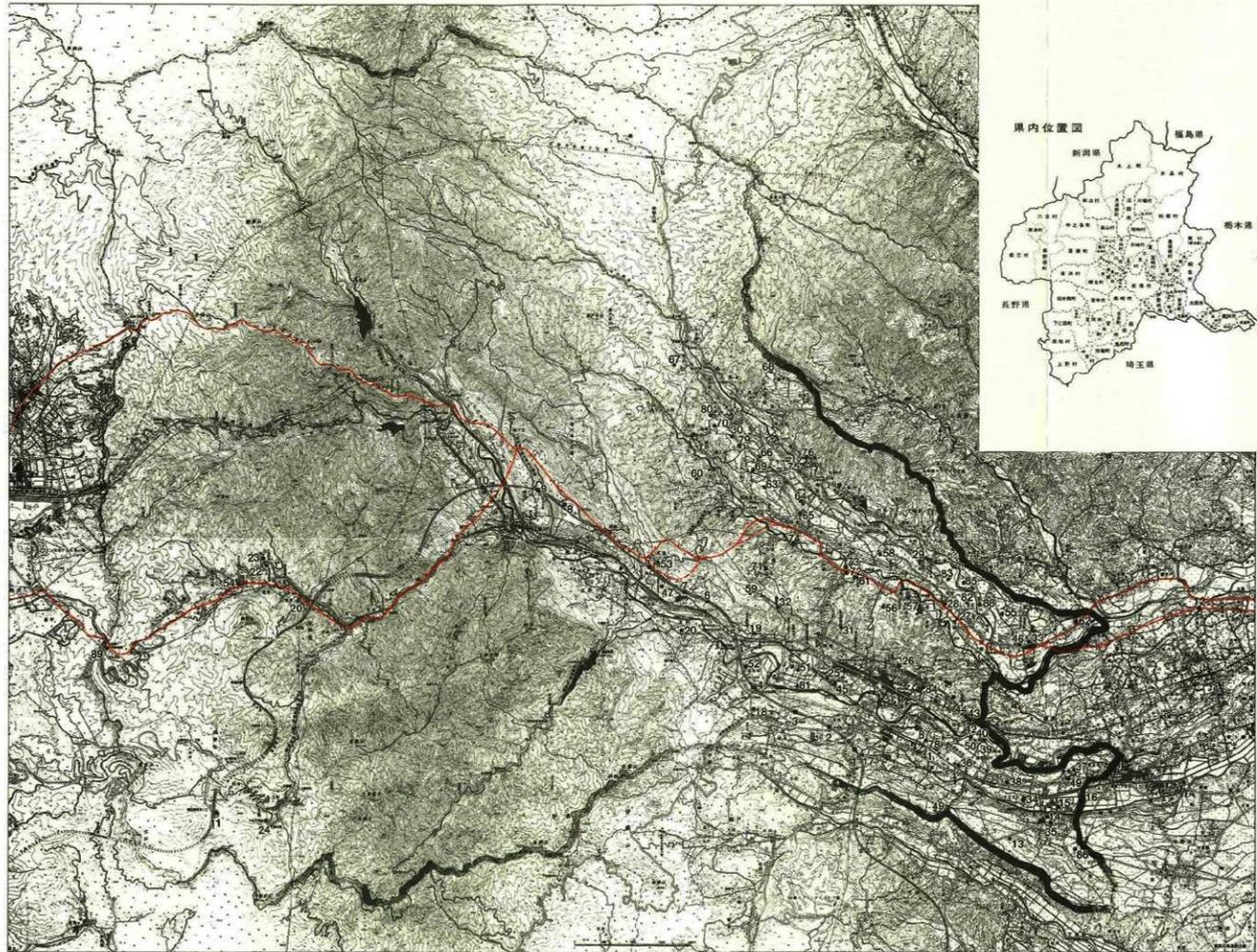
集落跡は、松井田工業団地遺跡で大規模な集落跡が調査されているほか、愛宕山遺跡(26)・仁田遺跡・暮井遺跡・人見北原遺跡(16)・五科山岸遺跡(19)・国衛遺跡・下増田天神原遺跡(29)・二軒在家二本杉遺跡などが調査されている。これらの遺跡の内、愛宕山遺跡では、皇朝十二歳の万年通宝や巡方・丸鞘が出土している。また、上信越自動車道開通では、八城二本杉東遺跡・行田梅水平遺跡・五科平遺跡(5)・五科野ヶ久保遺跡・五科稲荷谷戸遺跡・横川萩の反遺跡(9)・原遺跡で住居跡が調査されている。

生産遺跡としては、松井田工業団地遺跡や新堀陣場遺跡(25)で浅間B軽石下の水田跡が検出されている。また、高梨子蔵貝戸遺跡では、同軽石下の畝跡が調査されている。近接して位置する五科山岸遺跡・五科平遺跡では、多量の須恵器が検出され、周辺に窯跡の存在が推測されている。

中・近世

城郭では、北条氏の重臣・大道寺氏の松井田城(31)が著名で、ほかに松井田西城(32)・小日向城(33)・下増田城・愛宕山城・坂本城・大王寺城・人見城・名山城などが知られている。

生産遺跡では、横川大林遺跡・下増田百石遺跡(88)・上増田長久保遺跡(80)で浅間A軽石下の畝跡が検出されている。また、人見北原遺跡では、「妙義道」と推定される道路状遺構が調査されている。



第2図 松井田町灌漑分布図

表1 松井田町遺跡一覧表(1)

No	遺跡名	時代	種別	概要
1	八城二半杉原遺跡	縄文前期・中層、弥生前期、平安	集落跡	縄文前期岡田式層を主体とする集落跡。住居跡34軒、土坑28基、円形穴状2列、掘立柱礎跡2棟。
2	行田大北遺跡	縄文早期～後期	集落跡	縄文前期を主体とする集落跡。住居跡177軒、竪石住居等1軒、土坑335基、竪石5基、溝3基、掘立柱礎跡4基、ピット群等の検出され、クッキー状炭化物が出土している。
3	行田梅本平池遺跡	縄文前期～後期、弥生、平安	竪石住居跡、集落跡	竪石・竪石高野3軒、住居跡35軒、土坑506基、屋外焼土6部2基、製鉄跡2基、掘立柱礎跡35柱、竪石2基、溝、堀1列。
4	新堀東郷ケ原遺跡	縄文早期～中期、弥生、古墳、平安	集落跡	縄文中期以降集落、住居跡182軒、土坑1070基、チャート割片集中区1ヶ所、堀外掘立土坑15基、掘立柱礎跡2個、穴門2基が検出され、漆石製品・スランプ型土製品が多数出土している。
5	五科千室跡	奈良・平安	集落跡	住居跡7軒、土坑77基、溝4基、生石5基、土好遺物遺部、円形穴等の遺部群が多数出土し、他に縁輪焼、刀了、漆灰、鏡、粘土器等が出土している。
6	五科野々久保遺跡	縄文前期・中層、後期、奈良・平安	竪石住居跡、集落跡	縄文後期竪石住居、竪石28基を主体とし、縄文中期～後期3ヶ所、高野式の遺物が多数出土している。他に縄文前期住居跡7軒、中層住居跡3軒、後期住居跡2軒、炭化遺物2基、竪石土坑、埋土遺物、奈良・平安時代住居跡3軒、溝2基を複数出土している。
7	五科稲荷谷口遺跡	奈良・平安	墓跡、大形溝状遺跡	住居跡23軒、竪立柱礎跡4棟、大形溝状遺跡1条、高野3枚、溝跡、溝、井戸等が検出され、大形溝状遺跡は須賀の遺物と見られる。
8	横川大塚遺跡	縄文早期～前期、中期	集落跡、土坑群	縄文早期降圧形赤土系土器を伴う土坑群、竪石、掘立跡を主体として、早期中層住居跡5軒、前期・中期住居跡4軒、近内輪等が検出され、黒曜石を主体とする石製品製作関係の資料が大量に出土している。
9	横川坂の反置部	平安	住居跡	平安時代住居跡1軒が検出され、状況的に読み取れと考えられる。
10	原遺跡	奈良・平安	集落跡、掘立柱礎跡	住居跡3軒、大形竪立柱礎跡1棟、溝2条、大形竪立柱礎跡遺部群と立地等により、黒山遺跡と家系の可能性が指摘され、堀の跡による居住区画がとられている。全遺物の発見である縄文中期以降の石工系土器が検出され、住居された遺跡である。石製品類1ヶ所を伴う遺物から赤土系土器・磁器品・奈良系土器等の遺物の出土と、石製品片・漆片、石製製作工場の跡と土坑、竪立柱礎跡3ヶ所等が伴う状況で出土している。
11	東山遺跡	古代	古代官署	入山時、継承の2遺物あり。
12	上人見遺跡	弥生	塚跡	弥生中期の竪、深、スクレバー出土。
13	人見谷津遺跡	縄文～古墳、中世	住居跡	弥生後期の住居跡、人見焼成切跡、縄文土器、弥生土器、土葬墓5基。
14	松井田上原田遺跡	古墳～平安	集落跡、水田跡	古墳から平安時代の住居跡44軒、掘立柱礎跡11棟、竪石7本の水田跡、古墳、溝、井戸。
15	人見北原遺跡	古墳、平安	集落跡、道路等	平安時代住居跡、ピット、土坑、近所の遺物等が検出される。
16	二軒石蔵(本杉遺跡)	縄文・平安	住居跡	縄文後期降圧形竪石住居及び平安時代住居跡。
17	八城山遺跡	縄文・中世	住居跡、包圍地	縄文前期住居跡、包圍地、中央施設。
18	五科山田遺跡	奈良・平安	塚跡、住居跡	奈良時代土坑1基、遺物群片集中区1ヶ所、平安時代住居跡2軒。
19	五科内心竹遺跡	縄文・平安	住居跡、土坑等	縄文中期の竪石住居1基、平安時代住居跡1軒、土坑多数。
20	北野秋家遺跡	縄文	包圍地	土器小片のみ。
21	藤井遺跡	縄文～平安	集落跡等	竪石住居を含む縄文住居跡4軒と環状列石、平安時代住居跡1軒、中層住居跡、石等。
22	仁田遺跡	縄文～平安	住居跡等	竪石住居を含む縄文住居跡6軒、平安時代住居跡3軒。
23	千原水野遺跡	縄文～平安	包圍地(住居跡)	昭和48年に掘立と掘立した住居跡跡、縄文～平安時代の遺物多数検出、黒曜石製品、新編式土器5軒、4号住居より土坑1基、陶器片、鏡、土器、方車遺物出土。
24	新編塚遺跡	平安	水田跡	竪石山下の平安時代水田跡。
25	雲谷山遺跡	奈良～平安	住居跡	住居跡5軒、4号住居より土坑1基、陶器片、鏡、土器、方車遺物出土。
26	藤原遺跡	縄文～平安	住居跡等	石製品類と石部2ヶ所、弥生時代住居跡3軒、古墳時代住居跡4軒、平安時代住居跡4軒。
27	藤原西地町日遺跡	縄文～古墳	住居跡等	縄文後期以降形竪石住居跡、包圍地、弥生後期住居跡、土器式土器、江戸土器等出土。
28	下堀川大神遺跡	縄文・平安	住居跡、包圍地	縄文前期以降住居及び平安時代住居1軒、遺物群内で土器類出土品出土。
29	土橋下遺跡	縄文	住居跡、包圍地	縄文前期住居跡2軒、竪石遺物3基、切跡1基、包圍地。
30	松井田城	中世	城跡跡	伊中氏、穴田氏が建てた赤土系土器遺物群の跡により城の跡が形成された。天正18年(1590)年に前田利家と松井村とを北野原より占領する。戦後約100年経過後に遺跡により事前の遺跡調査が行われ、竪石、古銅戸、刀子、石器等が出土。
31	松井田城跡	中世	城跡跡	探検隊の発見と伝えられている。
32	小日向城	中世	城跡跡	松井田城の東の東の城として武田氏時代に築かれたものと思われる。
33	大寺寺城	中世	城跡跡	方形遺跡か。土坑多数の城と伝えられる。
34	人見城	中世	城跡跡	南北遺跡、足利氏に築かれた人見城跡の跡として創設され、後遺跡に大改修が行われたと思われる。
35	河田陣屋	近世	幕府陣屋跡	元和2年幕府に築かれた。
36	塚原古墳群	古墳	墳墓	10数基の小円形墳。築成は均一、うち1基は前方後円墳の可能性あり。
37	西塚野5号墳	古墳	墳墓	墳墓の調査では掘立と掘立出土。堀内にあり掘立は掘立になっている。
38	西塚野2号墳	古墳	墳墓	堀内には掘立しない。堀跡面に土器の跡が数箇所あるのみ。
39	西塚野3号墳	古墳	墳墓	石室の跡を掘立する。
40	松井田2号墳	古墳	墳墓	日とんと掘立を留めている。石室裏面と側面基部の石が少く残存。
41	松井田3号墳	古墳	墳墓	石室は上中に掘立しているようである。堀立上部は掘立。

表2 松井田町遺跡一覧表(2)

No	遺跡名	時代	種別	概要
44	松井田3号墳	古墳	墳墓	墳丘は南平され、心室部が窪みに落ちる。本墳の南平は第六式古墳の小規模。
45	松井田5号墳	古墳	墳墓	(はな丸、野崎) 300年程度から5世紀前半代までな塚であったようだ。
46	小日向古墳群	古墳	墳墓	古墳時代前期の小規模が密集しており、一部前方後円墳も存在する。
47	臼井7号墳(木下塚)	古墳	墳墓	東西10m、南北8m、高さ3m。
48	[人見辻正字]	古墳-平安	包蔵地	土師器、須恵器が散布する。古墳群の中にあり、附近の遺構が密集される。
49	[二軒在家東側所]	縄文	包蔵地	縄文中期を中心に豊富な遺物の散布が確認されている。
50	[二軒在家上家西]	古墳-平安	包蔵地	土師器、須恵器が散布する。附近への広がりが想定される。
51	[新堀西ノ塚]	縄文-平安	包蔵地	土師器、須恵器が散布する。附近への広がりが想定される。
52	[九科神名川]	平安	包蔵地	瓦葺、講帳が見られる。
53	[五科深田]	中世末		瓦葺、講帳が見られる。早稲が不明ながら小畠でかなり形跡化しており、中世末期の所産と考えられる。
54	[北野牧場入]	縄文	包蔵地	縄文時代(約興利3式期)の土器が出土している。
55	[小日向中原田園]	縄文-平安	包蔵地	縄文土器、土師器、須恵器が散布。小日向川で古墳群と共に分布法に比べると異なる。
56	高梨2次郎遺跡	縄文、古墳-平安	包蔵地	古墳-平安時代生土器14軒、瀬立柱建物跡、土坑、溝等。
57	[高梨子ノ尻戸]	弥生-平安	包蔵地	埴輪跡は豊富な生土器、弥生、土師器、須恵器が見られる。
58	高梨子ノ尻	弥生	包蔵地	弥生前期の埴輪土器が散布する。
59	[新井山平]	縄文	包蔵地	遺物の散布が認められる。
60	[土庫山口]	中世末		小型の板跡で延年鏡等は不明。中世期の物と考えられる。
61	高梨了成具門遺跡	弥生、古墳-平安	須恵器、土師器	弥生、奈良-平安の包蔵跡2軒と3軒と下巻跡、鳥石、土坑等。
62	小日向遺跡谷ノ尾跡	弥生	土師器	弥生後期式土器及び土師器2軒。
63	[土庫東入久保]	縄文	包蔵地	昭和30年中加賀川式土器のほかに定形品が出土。昭和36年頃の調査の際に発掘掘削式土器が出土。
64	[新井上入]	縄文	包蔵地	昭和32年、中野塚式土器が出土。
65	[土庫畑中]	縄文	包蔵地	昭和30年、遺跡発掘の際に後期縄文式土器の発掘品が出土。
66	[土庫田上畑野原]	縄文	包蔵地	昭和31年、後期加賀川式土器が出土。(畑野小沢遺)
67	[土庫田上沢]	縄文	包蔵地	昭和31年、後期加賀川式土器の小型コップ型土器が出土。
68	[土庫田上畑一洗所]	縄文	包蔵地	中期を中心とした土器、石器が豊富に分布している。
69	[土庫畑内]	縄文	包蔵地	昭和28年-30年にかけて原水掘工事が行われ、これに伴い縄文中期を中心に多くの遺物及び遺構が出土。在野依岡の塚、塚、塚等の北西では土坑が3坑に調査された。品類周辺での広がりが推察される。
70	[土庫久保]	縄文	包蔵地	中期を中心とした遺物の分布が認められる。石器が多く見られる。(66と同一)
71	[土庫白石]	縄文	包蔵地	中期を中心とした遺物の分布が認められる。石器が多く見られる。(66と同一)
72	細野7号墳	古墳	墳墓	(附塚)。上馬古墳群によると執立員古墳とあるが現状では不明。昭和33年の発掘工事の際に真砂の一部と須恵器、土師器片が出土。
73	細野8号	古墳	墳墓	石室塚は陥没しているが全体に発掘状況は良好。前方後円墳と思われる。
74	[土庫跡地]	縄文		遺物(1229) 年の物をもつ板跡、陶器片と土坑で埋土、瓦器、磨石、種子(キリコ、ウ、ウ)及び瓦器と床に下には無蓋で埋土した土器の一部が埋められる。
75	[土庫田引ノ内]	中世末		小型の瓦葺で延年鏡等は全く不明。溝中に存在する。
76	[土庫田引ノ内]	中世末		同上。八割に所在する。
77	原遺跡(野崎米分)	縄文、奈良-平安	包蔵地、集落跡	縄文包蔵層及び奈良-平安期に住居跡4軒、土坑等。
78	二軒在家東光寺遺跡	縄文、平安	集落跡	縄文住居跡2軒、平安期独立柱建物跡2棟、土坑、溝跡等。
79	土庫大久保遺跡	縄文	包蔵地	縄文中期遺物包蔵層。
80	上野田丸大泉遺跡	縄文、古墳	包蔵地、墳墓	縄文土器片多々。A下巻跡、縄文-古代(?)遺跡。
81	新堀東下原遺跡	平安	住居跡	平安時代住居跡2軒、土坑12基。
82	下野田下川中遺跡	古墳、平安	住居跡、墳墓	古墳時代住居跡2軒、古墳1基、平安時代住居、土坑。
83	下野田上川中遺跡	縄文、古墳-平安	住居跡、墳墓	縄文住居跡1軒、弥生土器、丁字形石置円墳2基、平安住居跡1軒。
84	松井田城遺跡	縄文、古墳	包蔵地、住居跡	縄文時代土坑、重心住居跡(?)1軒、古墳時代遺物包蔵層。
85	下野田十平遺跡	平安	住居跡	平安時代住居跡2軒、土坑。
86	八尾家東遺跡	古墳	集落跡	古墳時代住居跡3軒。
87	八尾三日市遺跡	縄文、平安	集落跡	縄文中期住居跡4軒、土坑12基、平安時代遺跡。
88	下野田石置遺跡	古墳、近世	住居跡、墳墓	古墳時代住居跡1軒、A土器。
89	入山約所遺跡	縄文、古墳	集落跡	古墳時代前期を中心とする集落遺跡、石置遺跡を主体として土師器、須恵器、陶器等が出土している。

第3節 調査会の経過

松井田町遺跡調査会は昭和62年度に組織され、西野牧小山平遺跡の確認調査から開始し、平成8年度の報告書刊行をもって解散した。調査組織は以下の通りである。

表3 松井田町遺跡調査会組織表1 (昭和62年度～平成3年度)

組 織	年 度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
会 長	町 長	中山治秀	武田弘	武田弘	武田弘	武田弘
副 会 長	教 育 長	小坂橋文夫	小坂橋文夫	宮下初太郎	宮下初太郎	宮下初太郎
理 事	教 育 委 員 長	宇佐美忠一	宇佐美忠一	宇佐美忠一	宇佐美忠一	佐藤博昭
	文化財調査委員	小林二三雄	小林二三雄	関光保	関光保	関光保
	文化財調査委員	上原富次	上原富次	上原富次	上原富次	上原富次
	総 務 課 長	坂本克朋	坂本克朋	寺嶋正行	春原直方	上原坦
	企 画 課 長	上原坦	上原坦	上原取	上原取	上原取
	財 政 課 長	上原長男	春原直方	萩原修一	白石敏行	白石敏行
	社会教育課長	白石敏行	土屋眞	土屋眞	土屋眞	上原眞
顧 問	県企画部交通対策課長	町田達男	小野宇三郎	小野宇三郎	小野宇三郎	磯貝弘二
	県教委管理部参事文化財保護課長	梅沢重昭	梅沢重昭	梅沢重昭	梅沢重昭	
	県教委管理部文化財保護課長					上月正博
	日本道路公団富岡工事事務所長	栗原紀一	栗原紀一	栗原紀一	倉沢貞夫	倉沢貞夫
	日本道路公団佐久工事事務所長	蛭川友司	蛭川友司			
山武考古学研究所長	平岡和夫	平岡和夫	平岡和夫	平岡和夫	平岡和夫	
監 事	監 査 委 員	松本武夫	松本武夫	松本武夫	佐藤敏夫	須藤祐伸
	取 入 役	小坂橋正昭	小坂橋正昭	内田武夫	寺嶋正行	寺嶋正行
事 務 局 長	文化財保護係長	伊藤節夫	伊藤節夫	伊藤節夫	伊藤節夫	
	社会教育課課長補佐文化財保護係長					清水博
事 務 員	文化財保護係主事	水澤祝彦	水澤祝彦	水澤祝彦	水澤祝彦	水澤祝彦
	松井田町遺跡調査会臨時職員	中澤美江子	中澤美江子	中澤美江子	中澤美江子	中澤美江子

表4 松井田町遺跡調査会組織表2(平成4年度~平成8年度)

組 織		年 度				
		平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
職 名	役 職	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
会 長	町 長	武 田 弘	武 田 弘	武 田 弘	武 田 弘	武 田 弘
副 会 長	教 育 長	宮下初太郎	宮下初太郎	稲塚 勇	稲塚 勇	稲塚 勇
理 事	教育委員長	中 島 久	山賀基宏	山賀基宏	山賀基宏	山賀基宏
	文化財調査委員	関 光 保	上原富次	上原富次	上原富次	上原富次
	文化財調査委員	上原富次	佐藤義一	佐藤義一	佐藤義一	佐藤義一
	総務課長	上原 坦	白石敏行	白石敏行	白石敏行	白石敏行
	企画課長	上原 取	武井貞夫	武井貞夫	武井貞夫	武井貞夫
	財政課長	白石敏行	土屋 眞	土屋 眞	土屋 眞	土屋 眞
	社会教育課長	土屋 眞	金谷宏二	金谷宏二	金谷宏二	金谷宏二
顧 問	県企画部交通対策課長	青木茂一				
	県土木道路建設課長		武井上巳	武井上巳	高橋丑五郎	高橋丑五郎
	県教委管理課参事文化財保護課長	上月正博	荒畑大治	荒畑大治	荒畑大治	
	県教委文化スポーツ部文化財保護課長					土 田 明
	日本道路公団富岡工事事務所長	佐々木芳文	佐々木芳文			
	日本道路公団佐久工事事務所長			土井俊二	土井俊二	村上友幸
山武考古学研究所長	平岡和夫	平岡和夫	平岡和夫	平岡和夫	平岡和夫	
監 事	監 査 委 員	須藤祐伸	須藤祐伸	須藤祐伸	中山公平	中山公平
	取 入 役	寺嶋正行	寺嶋正行	寺嶋正行	寺嶋正行	寺嶋正行
事務局長	社会教育課課長補佐 文化財保護係長	清 水 博	清 水 博	清 水 博	佐野興伸	佐野興伸
事 務 員	文化財保護係主事	水澤祝彦	田 口 修	田 口 修	田 口 修	田 口 修
	松井田町遺跡調査会臨時職員	中澤美江子	中澤美江子	中澤美江子	中澤美江子	中澤美江子

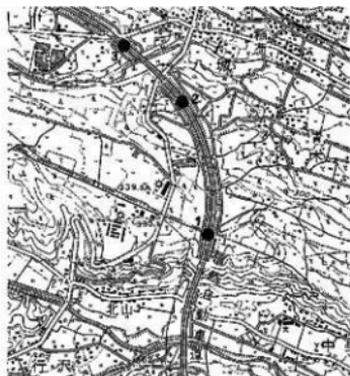
第1章 遺跡の立地と基本層序

第1節 遺跡の立地

本遺跡はJ R信越本線・松井田駅の南方約1.5kmに位置する。遺跡のほぼ中央部に松井田町と妙義町の行政境があり、本来は2町にまたがる遺跡である。

本遺跡は妙義山の山稜から派生する西横野丘陵の南端部に立地しており、遺跡地周辺は平坦な地形が開けているものの、南側は急峻な段丘崖となっている。遺跡の北側約1.7kmには碓氷川が流れ、同じく南側300mほどには箭川の支流である高田川が南東流している。標高は328m前後で、高田川との比高は約80mである。

本遺跡の北方約0.7kmには縄文時代前期の関山式期集落跡や中期前半の土坑群が検出された八城二本杉東遺跡が、同じく北北西約1.0kmには縄文時代前期風浜～諸磯式期を中心とする集落遺跡である行田大道北遺跡が位置している。



1：行田二本杉遺跡 2：八城二本杉東遺跡
3：行田大道北遺跡

第3図 遺跡の位置
(国土地理院2万5千分の1「松井田」)

第2節 基本層序

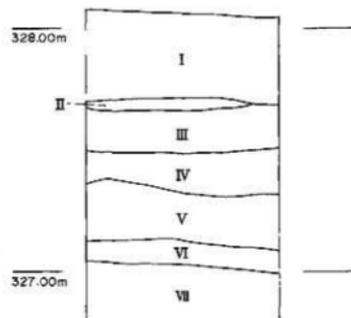
第4図は、北から2番目のトレンチで観察・記録したものであるが、他の地点においても概ね同様な層序にある。

I層は浅間A軽石（天明3年、1783年降下）を含む表土で、40cm前後の厚さがある。

II層は浅間B軽石（天仁元年、1108年降下）の純層で、層厚は5cm前後である。同軽石は古墳時代初頭の2号・6号住居跡の埋没土上層にもその堆積が認められる。なお、同時期の遺構はIII層上面において確認できた。

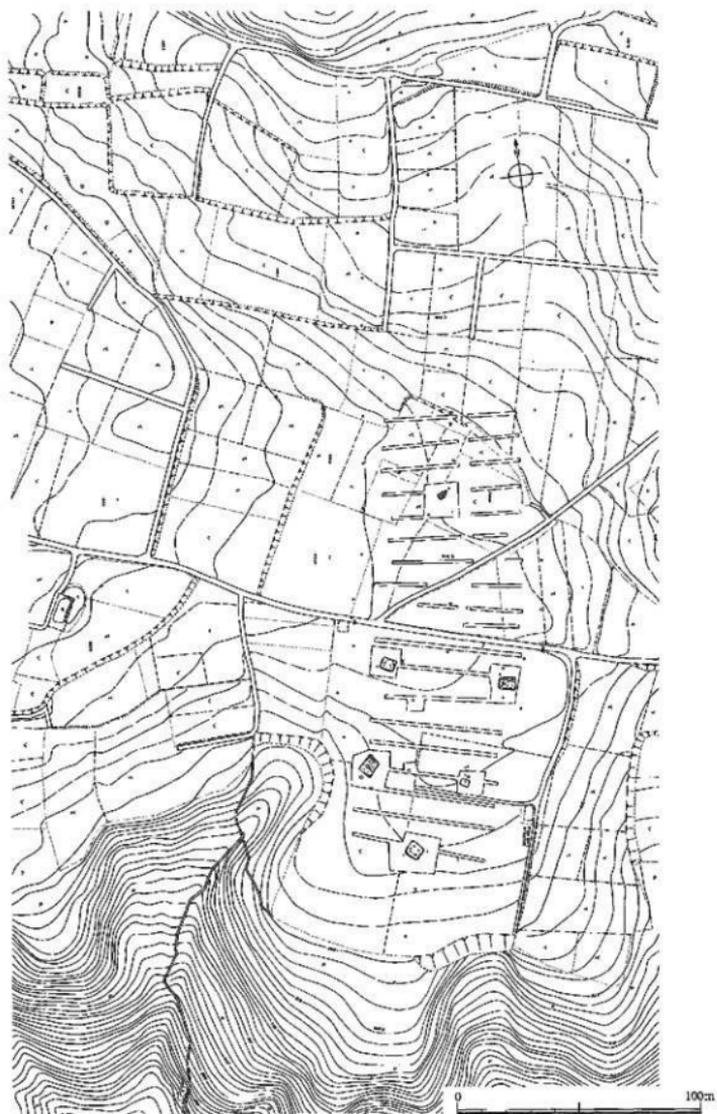
縄文時代の遺構はVI層において確認できた。IV・V層からは明確に遺構を確認することができなかった。

VI層のローム層下の状態については図示していないが、一部のトレンチで深掘したところ、近接する八城二本杉東遺跡と同様、Y P層やB P層の地積が確認されている。



I層：埋積表土 表土、浅間A軽石を多く含む。
II層：浅間B軽石層
III層：埋積表土 埋積土、灰化土、灰化土を多く含む。
IV層：埋積表土 土層の中層、灰化土を多く含む。
V層：埋積表土 ローム層・フコクを少量含む。土層の中層。
VI層：埋積土 ローム層・フコクを少量含む。土層の中層。
VII層：埋積土 ローム層。

第4図 基本層序



第5図 行田二本杉遺跡の位置 (S=1:2,000)

第2章 調査の方法と経過

第1節 発掘調査

本遺跡は、昭和59年度に群馬県教育委員会が実施した現地踏査では遺物が採集されなかったため、当初、調査対象から除外されていた。しかし、表面採集だけでは不十分と判断し、急遽、平坦部の約9,000㎡を対象にトレンチ調査を実施することになった。

調査対象地は松井田町(行田二本杉遺跡)と妙義町(行沢二本杉遺跡・中里原遺跡)にわたって位置するが、当該箇所が道路公園側の工事工程の上で施工を急ぐ高田川橋梁北側橋内の建設地に相当しており、すみやかに調査を終了させる必要があった。そのため、本遺跡の調査開始時に近接する八城二本杉東遺跡を松井田町遺跡調査会が調査していた経緯もあり、そのまま並行して調査したほうが効率的との理由から、群馬県教育委員会・松井田町教育委員会・妙義町教育委員会による協議の上、松井田町遺跡調査会が妙義町範囲も含めて調査を実施した。また、出土遺物や図面・写真等の保管についても松井田町教育委員会が一括して保管することになった。なお、遺跡名は、この時点で八城南遺跡と仮称することにした。

調査対象地の15%について2面の確認調査を行い、上面で(弥生時代末葉～)古墳時代初頭の住居跡3軒、下面で縄文時代の住居跡2軒等の遺構が確認された。本調査は確認された遺構範囲を拡張する方法で実施した。各遺構は埋没状態・構築状態・遺物出土状態の観察・記録を行った。遺構測量は、国家公共庫標(第Ⅸ系)を基準に10m×10mのグリッドを設定して行った。グリッド名は、北西角を基点に西から東へアルファベットを、北から南へ算用数字を付し、A-1グリッドのように表記した。遺構実測図は、1/20縮尺を基本とし、加跡等は1/10縮尺で作図した。また、地形測量図は1/500縮尺、遺跡全体図は1/200縮尺で作成した。写真撮影は調査の各過程で随時行い、白黒6×7判・白黒35mm・カラースライド35mmのフィルムを使用した。調査進行状況は別に白黒35mmを使用して記録してある。遺跡の全景写真撮影はバルーン空撮で行った。

調査経過の概略は下記の通りである。

昭和63年8月9日：発掘調査開始。トレンチによる確認調査を開始する。22日：トレンチ調査と並行して、遺構検出範囲の拡張を行う。同年9月：上旬に各トレンチの掘削及び精査を行い、中旬に各遺構の調査を行う。22日：空撮を行う。30日：遺跡全体測量を行い、現地における発掘調査を終了する。

第2節 整理調査

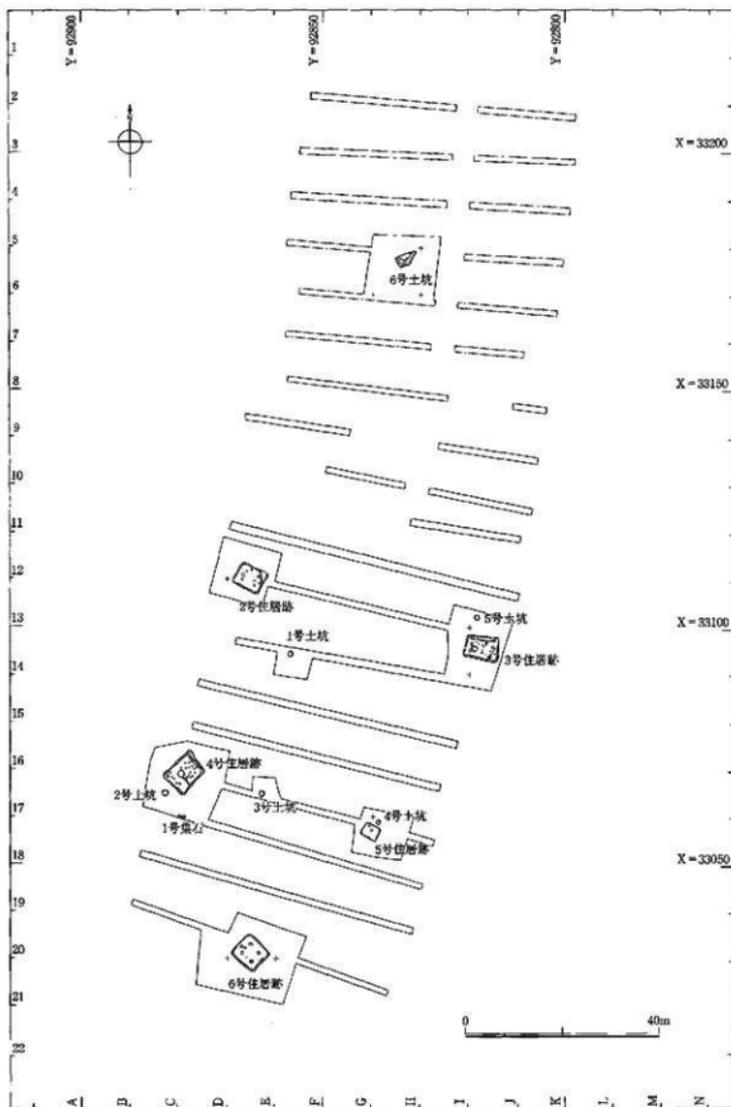
遺物水洗い・注記及び写真・図面等の基礎整理は、一部発掘調査と並行して進めており、その際、遺跡名の記載は「八城南遺跡」を用いている。遺跡名は、その後、例言にも触れたように「行田二本杉遺跡」に変更されたが、遺物注記については修正していない。注記には次のような略記号を用いている。

行田二本杉遺跡(八城南遺跡)……MY、S 住居跡……H 土坑……土 グリッド……グ

遺物写真は報告書掲載遺物について撮影し、基本的に白黒6×7判フィルムに記録した。遺物実測も報告書掲載遺物について行い、1/1縮尺で作図した。また、必要に応じて拓本図を作成した。整理調査終了後の遺物は、報告書に使用したものと不使用のものに分け、遺物収納箱もしくは専用段ボール箱に収納した。各遺物収納箱の小口には遺跡名・遺構名・報告書使用の有無等を明記してある。

遺構図面は、検討・修正を行った後、報告書掲載のものについてトレース・版組を行った。

遺構・遺物実測図は図面ケースに収納した。また、遺構図面・写真、遺物図面・写真の各台帳を作成した。



第6圖 行田二本杉遺跡全体圖 (S = 1 : 1,000)

第3章 遺構と遺物

第1節 概要

検出された遺構は、縄文時代の住居跡2軒（前期黒浜式期）・集石土坑1基・土坑5基、（弥生時代末葉～）古墳時代初頭の住居跡3軒、時期不明の土坑1基である。各遺構は調査区の南半に疎らに分布している。

縄文時代黒浜式期の住居跡（3号・4号住居跡）は長台形状の平面形で、壁周溝・壁柱穴があり、主柱穴は基本的に6基構成と考えられる。遺物は土器片・石器類が出土しているが、量的にはあまり多くない。集石土坑・土坑はいずれも平面円形を基調とするが、性格については明確に判断できなかった。

古墳時代初頭の住居跡（2号・5号・6号住居跡）からは、土師器とともに櫛描文を施す樽式系の土器と縄文施文の吉ヶ谷系土器が出土している。特に2号住居跡からは比較的まとまった遺物が出土しており、当該期の一括好資料が得られている。また、いずれの住居跡からも土製紡錘車出土している。

なお、発掘調査の段階で1号住居跡としていたものは、その後の検討の結果、住居跡ではないと判断し、6号土坑に名称変更した。したがって1号住居跡は欠番となっている。

第2節 縄文時代

(1) 住居跡

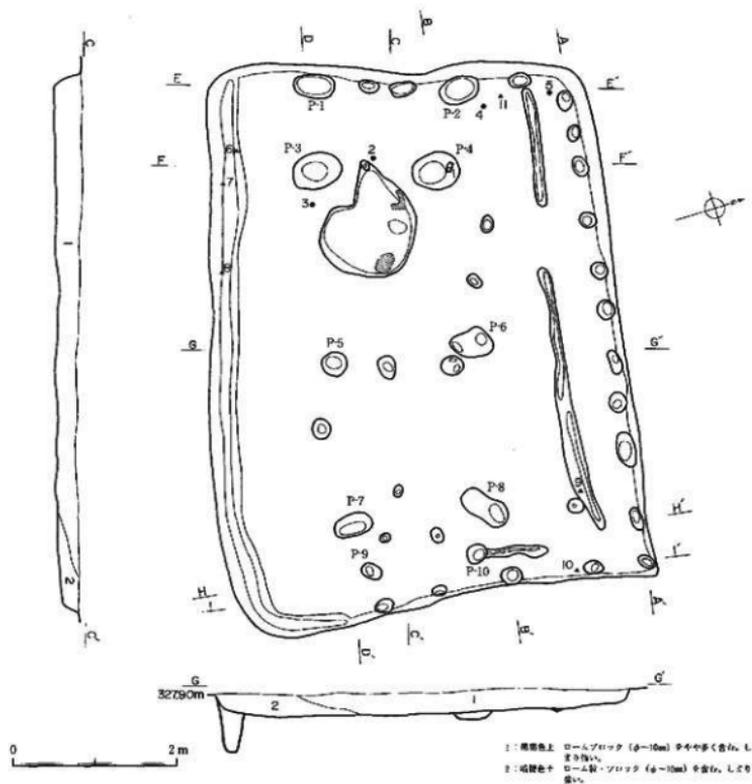
3号住居跡（遺構：第7・8図、P.L.3 / 遺物：第12図、P.L.8）

位置：I-13グリッド。平面形態：長台形。規模：6.35m×4.71m。床面積：30.6㎡。残存深度：30cm。長軸方位：N-81°-W。床面の状態：多少の凹凸はあるものの、全体的にはほぼ平坦である。壁面の状態：概ね65°前後の勾配で立ち上がるが、遺存状態良好な部分は垂直に近い状態にある。壁周溝：南側壁面に沿って深さ40cm前後の深い溝がある。また、北側壁面から80cmほどの位置に、同壁面に平行する深さ5cm前後の浅い溝がある。柱穴：西側・北側・東側に壁柱穴が連続する。主柱穴はP-3-8の6基と想定され、P-3-5・7とP-4-6・8はそれぞれほぼ同一ライン上に位置している。また、西端に位置するP-1-2は他の壁柱穴に比べて規模が大きい。東側壁面から40～60cmほどに位置するP-9・10は出入り口施設に関連するものと思われる。炉跡：地床炉。P-3・4間からその南側にかけて位置する。1.44m×1.18mの不整形な平面形で、わずかに地山の被燃痕が認められた。遺構埋没状態：ロームブロック等を含む黒褐色・暗褐色土が自然埋没する。遺物出土状態：少量の土器片・石器類が散在するような状態であった。時期：前期黒浜式期。遺物：土器片37点、石器（打製石斧2、スクレイパー4、石匙1、磨石・凹石4、敲石1、磨製石斧1、調整のある剥片1、剥片その他21点）を確認している。掲載遺物、土器5点、石器6点。

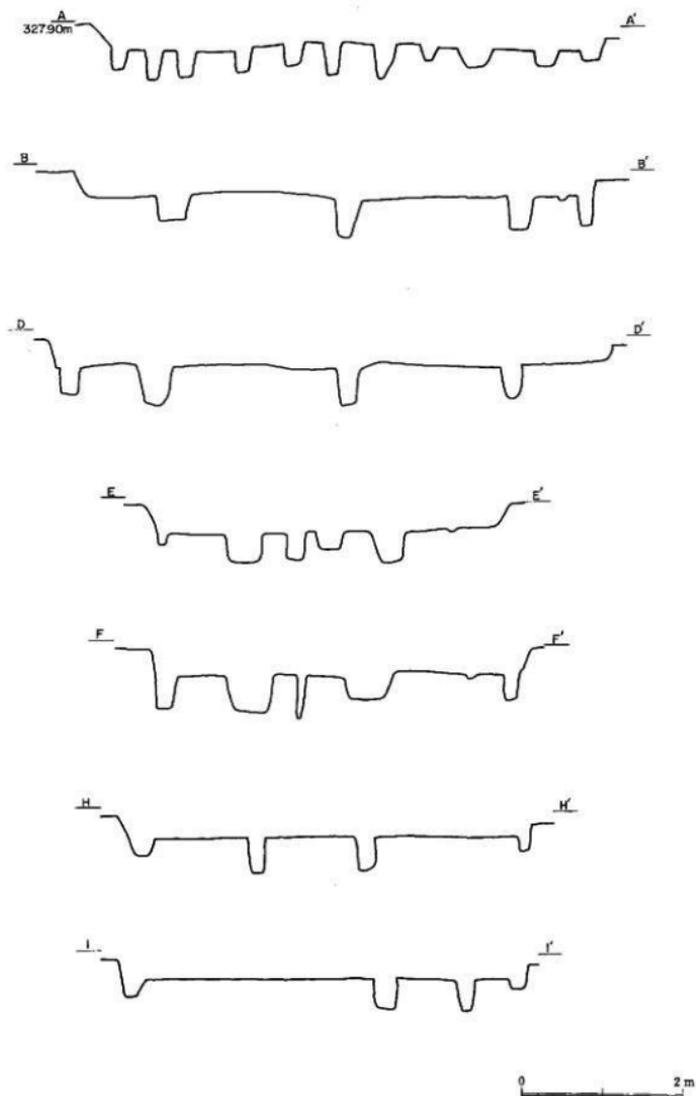
4号住居跡（遺構：第9～11図、P.L.3 / 遺物：第13図、P.L.8）

位置：C-16グリッド。平面形態：長台形。規模：7.22m×5.65m。床面積：41.4㎡。残存深度：29cm。長軸方位：N-44°-E。床面の状態：やや凹凸がみられる。壁面の状態：遺存状態良好な部分では垂直に近い状態にある。壁周溝：南西部で一部明確に確認できなかったものの、ほぼ全周するようである。北東側と南西側は壁面よりわずかに離れる状態にあり、北東側は2重に検出されている。また、中央南西寄りにも浅い溝（溝B）が検出されている。柱穴：壁柱穴が連続するが、南西部では明確に確認できなかった。壁柱穴は北西側と南東側は壁周溝内に掘り込まれている。遺構内には多数のピットが検出されているが、位置関係からP-1～6の6基を主柱穴と判断した。また、中央南西寄りに平面形態円形で、規模1.20m×1.10mほどの浅い掘り込み

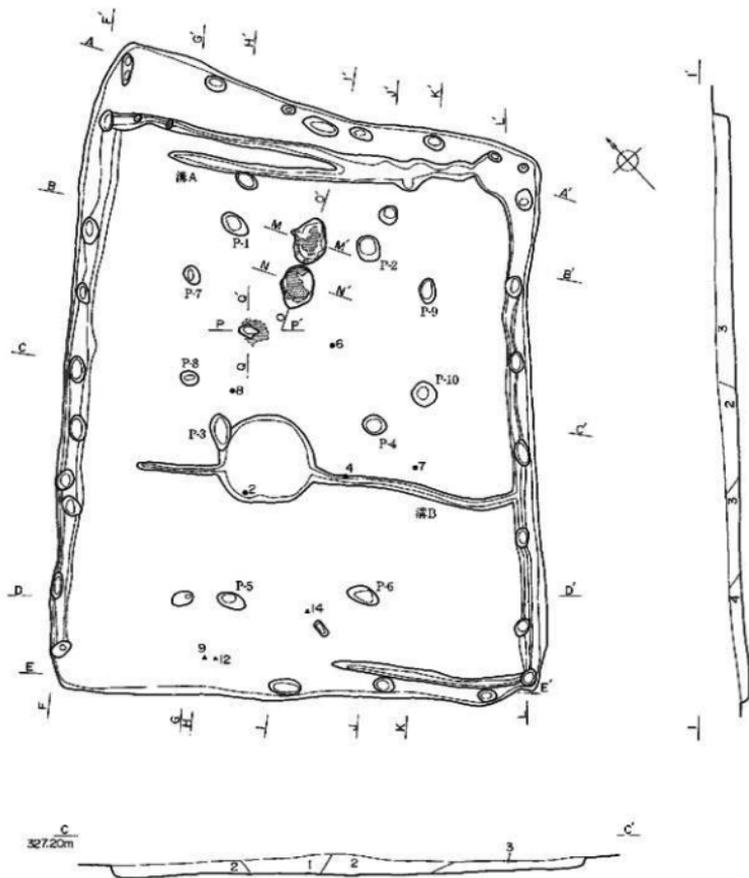
があり、土坑が重複していた可能性がある。炉跡：3基検出されており、いずれも地床炉である。1号炉跡はP-1・2間に位置し、規模58cm×38cm、平面形は不整形円形。2号炉跡は1号炉跡の南西に近接し、規模は55cm×41cm、平面形は不整形円形。3号炉跡は2号炉跡の西側50cmほどに位置し、規模は24cm×19cm、平面形は不整形で、外周周辺部に顕著な被熱痕がある。遺構埋没状態：ロームブロック等を含む暗褐色・黒褐色基調の土が埋没する。遺物出土状態：土器片・石器類が散在するような状態であった。備考：本住居跡は壁周溝・柱穴・炉跡の状態から建て替えが行われた可能性があり、長軸方向を時計回りに83°回転する状態で規模を拡大し、建て替えたものと思われる。先述した記載事項は建て替え後と想定した遺構の状態であり、建て替え前の状態は以下のように想定される。平面形態は長方形、規模5.55m×3.90m、長軸方位はN-39°-W、溝A・Bを壁周溝とし主柱穴はP-7~10の4基。3号炉跡が建て替え前のものと考えられる。時期：前期黒浜式期。遺物：土器片132点、石器（打製石斧1、スクレイパー5、石鏃1、石鎌1、砥石2、調整のある剥片2、剥片その他78点）を確認している。掲載遺物、土器8点、石器6点。



第7図 3号住居跡①



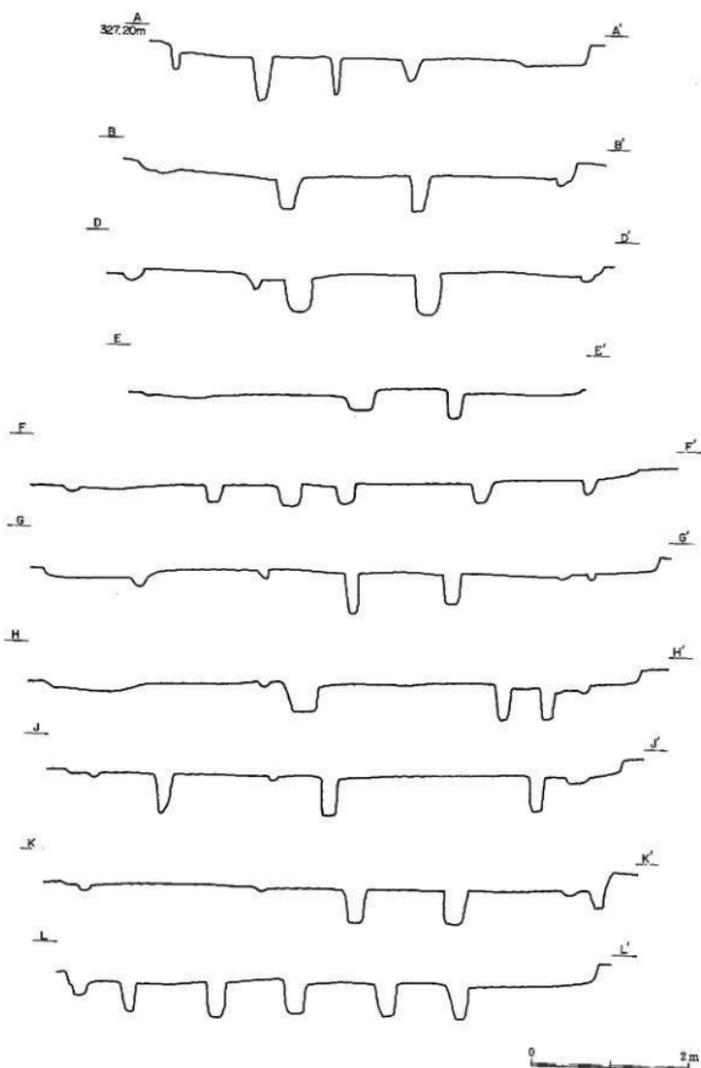
第8图 3号住居跡②



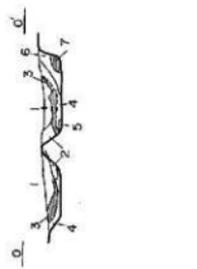
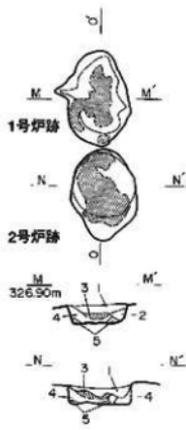
- 1: 西壁上 ローム状・ブロックを多量含む、しきり強い。
- 2: 壁軸線上 ロームブロック (φ=20cm)・泥炭塊を少量含む、しきり強い。
- 3: 西軸線上 ロームブロック (φ=3m) を多量含む、しきり強い。
- 4: 壁軸線上 ローム状・ブロック (φ=2m) を含む、しきり強い。

0 2m

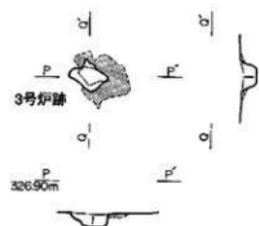
第9図 4号住居跡①



第10圖 4号住居跡②



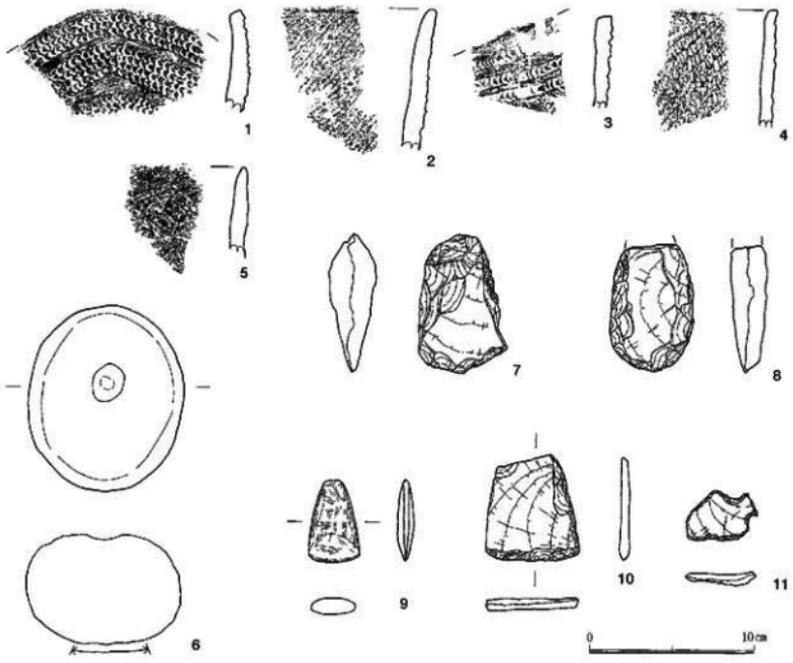
- 1: 黒砂土 透し砂・灰化炭を少量含む。しまり強い。
- 2: 灰砂土 砂を少量含む。しまり強い。
- 3: 灰砂土 灰土。
- 4: 灰砂土 砂。
- 5: 灰砂土 砂を少量含む。しまり強い。
- 6: 黒砂土 砂を少量含む。しまり強い。
- 7: 赤褐色土 焼土。



1: 黒砂土 透し砂・灰土を少量含む。しまり強く、粘性がある。



第11図 4号住居跡・炉跡



第12図 3号住居跡出土遺物



第13圖 4号住居跡出土遺物

(2) 集石土坑

1号集石土坑 (遺構：第14図、P L 4)

位置：C-17グリッド。平面形態：円形。断面形態：逆台形。規模：0.73m×0.68m。残存深度：22cm。検出状態：土坑内から大小の礫が大量に検出されている。礫は安山岩を主体とする円礫及び割石で、いずれの礫にも顕著な被熱痕がある。土坑内からは微量の炭化材が検出され、分析の結果「クリ」と同定されている(付編1)。また、焼土は認められず、壁面や底面に被熱痕も確認されなかった。遺物出土状態：黒曜石剥片が1点出土しているのみである。時期：断定はできないが確認面の層位的な状態から、先述の3号・4号住居跡と同時期(前期黒浜式期)の可能性が考えられる。

(3) 土坑

土坑は6基を検出している。6号土坑は埋没土上層に浅間B軽石層が堆積しており、確認面からも次第に記載する古墳時代初期の住居跡と同時期の遺構と思われるが、便宜上、本項で扱うことにする。

1号土坑 (遺構：第14図、P L 4 / 遺物：第16図、P L 8)

位置：E-13グリッド。平面形態：円形。断面形態：逆台形。規模：1.10m×1.09m。残存深度：23cm。遺物出土状態：埋没土中から少量の土器片・石器類が出土している。時期：前期黒浜式期。

遺物：土器片9点、石器(石鏃2、剥片その他17点)を確認している。掲載遺物、土器1点。

2号土坑 (遺構：第14図、P L 4 / 遺物：第16図、P L 8)

位置：B-16グリッド。平面形態：円形。断面形態：箱状。規模：1.26m×1.17m。残存深度：42cm。遺物出土状態：埋没土中から少量の土器片と剥片が出土している。時期：前期黒浜式期。

遺物：土器片5点、剥片7点を確認している。掲載遺物、土器3点。

3号土坑 (遺構：第14図、P L 4)

位置：D-16グリッド。平面形態：推定円形。断面形態：不明。規模：推定1.15m×1.08m。残存深度：13cm。遺物出土状態：遺物は出土していない。

4号土坑 (遺構：第15図、P L 4)

位置：G-17グリッド。平面形態：楕円形。断面形態：逆台形。規模：0.91m×0.72m。残存深度：54cm。遺物出土状態：遺物は出土していない。

5号土坑 (遺構：第15図、P L 4)

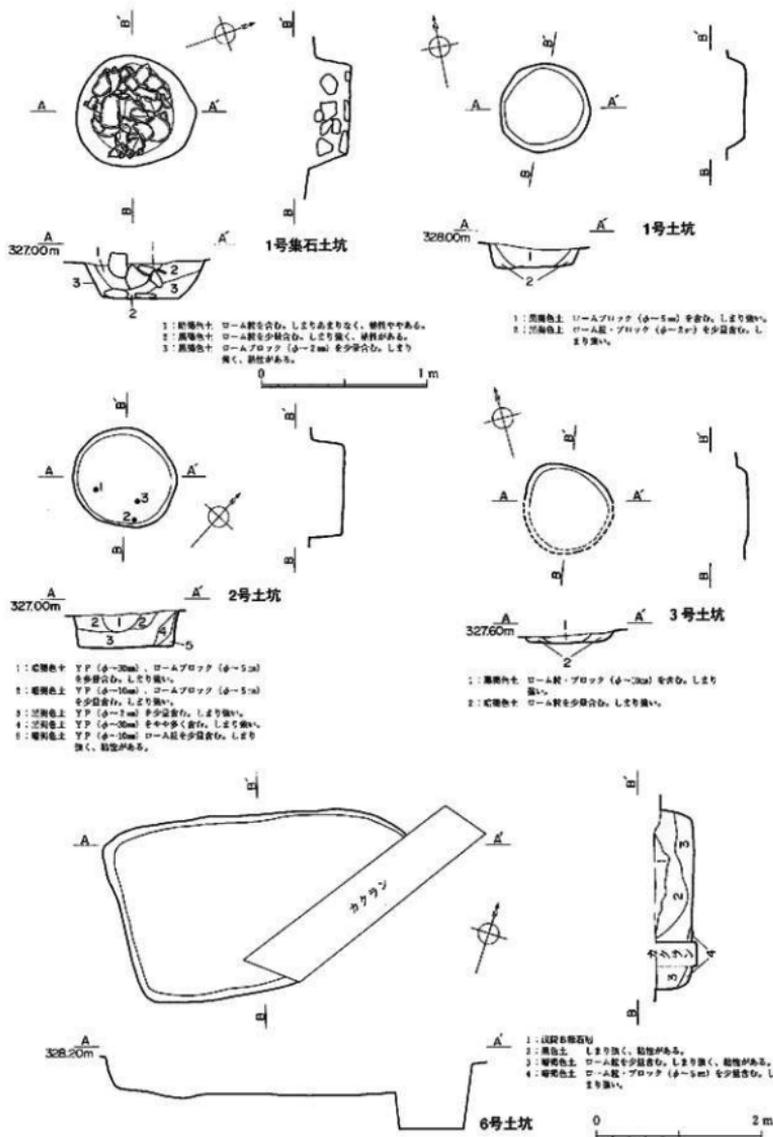
位置：I-12グリッド。平面形態：円形。断面形態：楕円形。規模：1.08m×1.00m。残存深度：22cm。遺物出土状態：遺物は出土していない。

6号土坑 (遺構：第14図、P L 2)

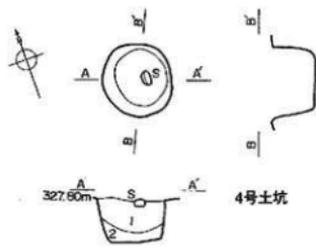
位置：G-5グリッド。平面形態：不明。断面形態：箱状。規模：-×2.14m。残存深度：36cm。遺物出土状態：土師器と思われる小破片が1点出土している。備考：埋没土上層に浅間B軽石層。

(4) 遺構外出土遺物 (第16図、P L 8)

遺構外からは土器片16点、石器(打製石斧3、スクレイパー7、石鏃1、石匙1、磨石・円石2、磨製石斧1、調整ある剥片2、剥片その他29点)を確認している。わずかではあるが中間末葉の上器(3・4)がみられる。(1)は黒浜式、(2)は踏碇a式土器である。掲載遺物、土器4点、石器6点。

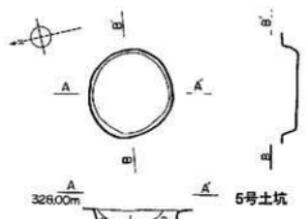


第14図 集石土坑、土坑①



4号土坑

1: 灰褐色土 ローム状の少量含む、しりぞれ、柱状がある。
 2: 灰褐色土 ローム状・ブロック (6-8cm) を少量含む、しりぞれ、しりぞれ、

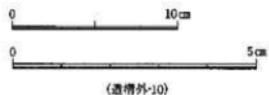
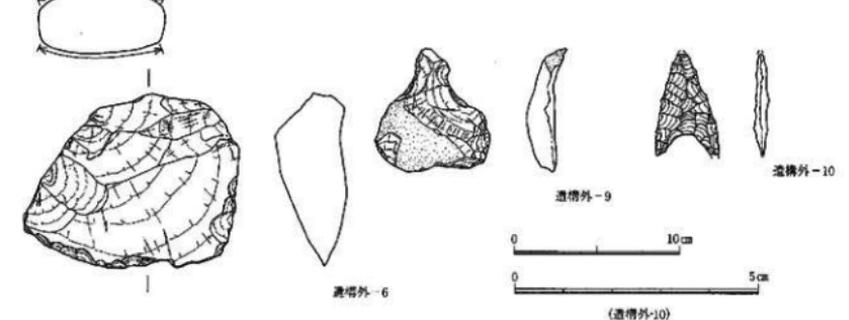
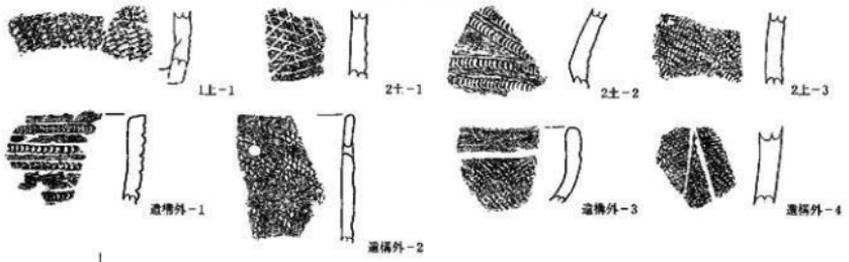


5号土坑

1: 灰褐色土 ロームブロック (6-8cm) を含む、しりぞれ、
 2: 灰褐色土 ロームブロック (6-8cm) を含む、しりぞれ、



第15図 土坑②



(遺構外-10)

第16図 土坑・遺構外出土遺物

第3節 古墳時代

2号住居跡（遺構：第17・18図、P L 6・7／遺物：第22・23図、P L 9・10）

位置：D-11グリッド。平面形態：長方形。規模：5.53m×4.59m。床面積：25.0㎡。残存深度：84cm。長軸方位：N-17°-W。床面の状態：多少の凹凸はみられるが、全体的に平坦である。周縁部を中心に焼上や被熱痕が認められる。壁面の状態：80°前後の勾配で立ち上がる。壁周溝：浅い溝が巡っているが、北西から北東にかけては明瞭に確認できなかった。また、南東部隅では東側・南側の壁面と三角形をつくるような位置に浅い溝が検出されている。柱穴：規模や位置関係からP-1～4の4基が主柱穴と考えられる。南側壁面から40cmほどに位置するP-6は出入り口施設に関連するものと思われる。P-3・4間に位置するP-5は性格不明である。炉跡：P-1・2間に位置。平面形態は不整形円形で、規模は73cm×41cm。南側に竪がある。焼土・炭化材等は顕著には認められなかった。貯蔵穴：南側端の中央付近に位置（P-7）。平面形態は楕円形で、規模は58cm×47cm、深さ54cm。貯蔵穴内からは瓦底部等、少量の遺物が出土している。遺構埋没状態：黒褐色基調の土が埋没するが、床面付近に焼土・炭化材がみられることから焼失住居跡と考えられる。なお、埋没土層には浅間B軽石の堆積が認められた。遺物出土状態：比較的床面付近からの出土が多く、特に南東隅付近からは壺・甕・高坏・器台・鉢等が集中して出土している。備考：先述したように本住居跡は焼失住居跡と考えられ、床面や壁面から炭化材が検出されている。任意に15点を分析した結果、すべてが「コナラ属」と同定された（付編1）。また、南東隅付近は溝の状態や遺物出土状態から壺状の施設が存在していた可能性が考えられる。時期：古墳時代初頭。

遺物：壺・甕10点以上、高坏3点、器台3点、鉢3点、手捏土器1点、土製紡錘車1点、散石1点、筋れ込みの縄文前期土器片5点、黒曜石割片を確認している。壺・甕には(8)のようなハケ目を施す土器器と、縄文を施文する吉ヶ谷式土器及び柳澤文系（樽式系）の土器がみられる。掲載遺物21点。

5号住居跡（遺構：第21図、P L 5／遺物：第24図、P L 10）

位置：G-17グリッド。平面形態：長方形。規模：3.18m×2.76m。床面積：8.5㎡。残存深度：40cm。長軸方位：N-64°-W。床面の状態：全体的にはほぼ平坦である。壁面の状態：遺存状態良好な部分では85°前後の勾配で立ち上がる。壁周溝：検出されなかった。柱穴：遺構内にビット2基を検出しており、主柱穴はこの2基と思われるが、いずれも小規模である。炉跡：中央やや北寄りに位置。平面形態は不整形円形で、規模は71cm×41cm。中央北寄りに細長い竪を置く。底面には顕著な被熱痕が認められる。遺構埋没状態：自然埋没と考えられる。遺物出土状態：壺1点と土製紡錘車1点が「出」しているのみである。備考：炉跡内及び床面付近から少量の炭化材が検出されている。任意に7点を分析した結果、「カヤ」「ケンボナシ」「コナラ属」に同定された（付編1）。時期：古墳時代初頭。

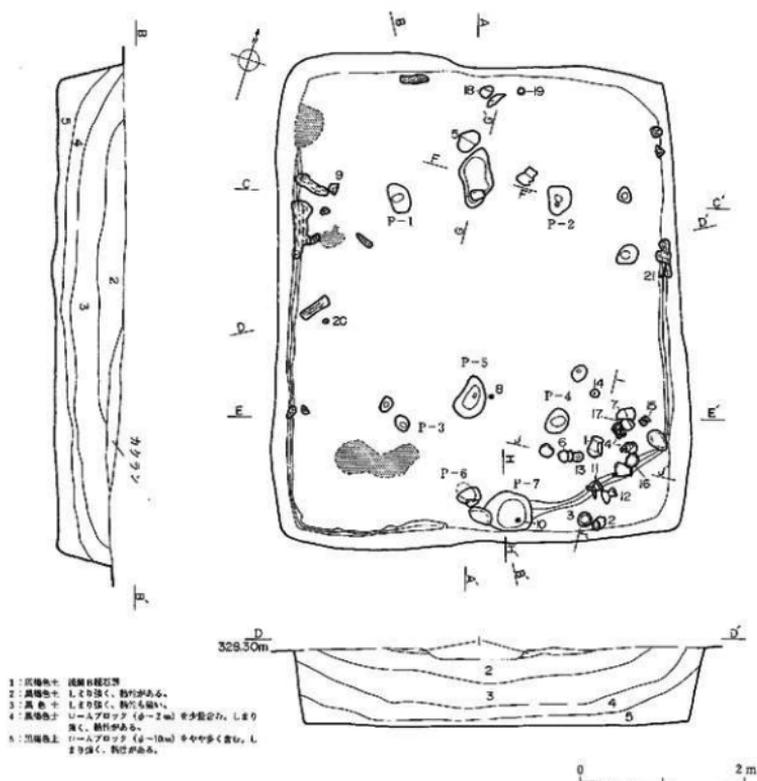
遺物：壺1点、土製紡錘車1点を確認している。壺は縄文を施文する吉ヶ谷式土器である。掲載遺物2点。

6号住居跡（遺構：第19・20図、P L 5／遺物：第25図、P L 10）

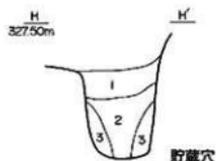
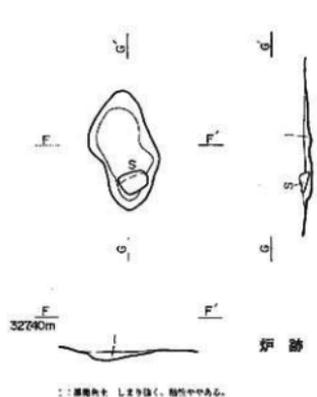
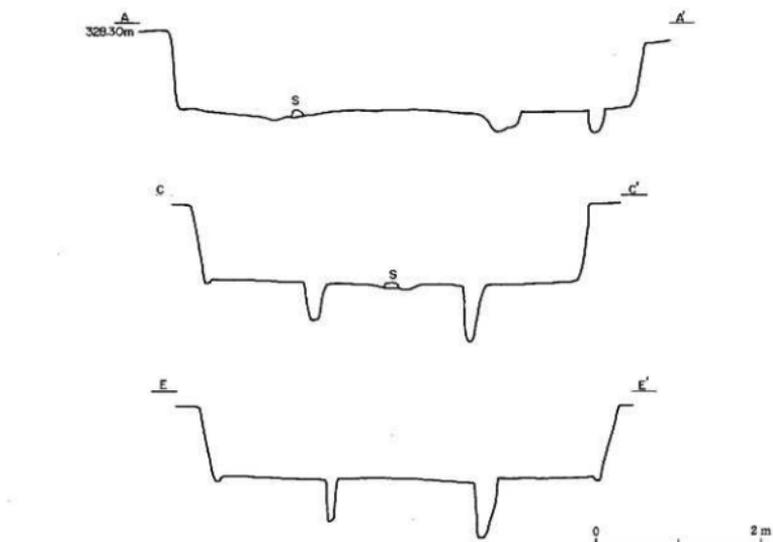
位置：D-19グリッド。平面形態：長方形。規模：6.00m×5.42m。床面積：31.7㎡。残存深度：104cm。長軸方位：N-47°-W。床面の状態：全体的にはほぼ平坦である。周縁部の一部に焼土や被熱痕が認められる。壁面の状態：85°前後の勾配で立ち上がる。壁周溝：浅い溝が巡っているが、北西側から南西側にかけては明瞭に確認できなかった。柱穴：規模や位置関係からP-1～4が主柱穴と考えられる。主柱穴間にはP-8・9

の小ピットがあり、そのほか壁面沿いにも数基の小ピットがみられる。南東壁付近に位置するP-6は出入り口施設に関連する可能性が考えられる。また、炉跡北西側のP-5については性格不明である。炉跡：P-1・2間の北西寄りに位置。平面形態は不整形で、規模は61cm×47cm。中央付近に竈を置く。焼土・炭化材等は顕著には認められなかった。貯蔵穴：南東側端の中央付近に位置。平面形態は楕円形で、規模は71cm×51cm、深さ48cm。遺構埋没状態：自然埋没と考えられる。2層には浅間B軽石の堆積が認められた。遺物出土状態：南側隅付近に壺(1・2)・甌(4)・高坏(5)などがやや集中する状態にあるが、これらには中央南寄り付近から出土した破片と接合するものがみられた(2・4)。備考：木住居跡からも少量の炭化材が検出されており、1点を任意に分析した結果「コナラ属」に同定された(付種1)。時期：古墳時代初頭。

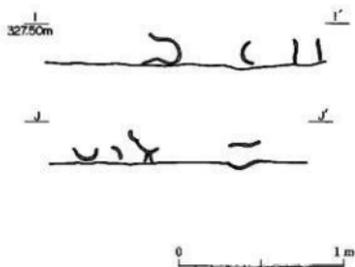
遺物：壺3点、壺2点、甌1点、高坏2点、土製紡錘車1点を確認している。壺・甌には、土師器のほか縄文を施文する古ヶ谷式土器及び御描文系(樽式系)の土器がみられる。掲載遺物7点。



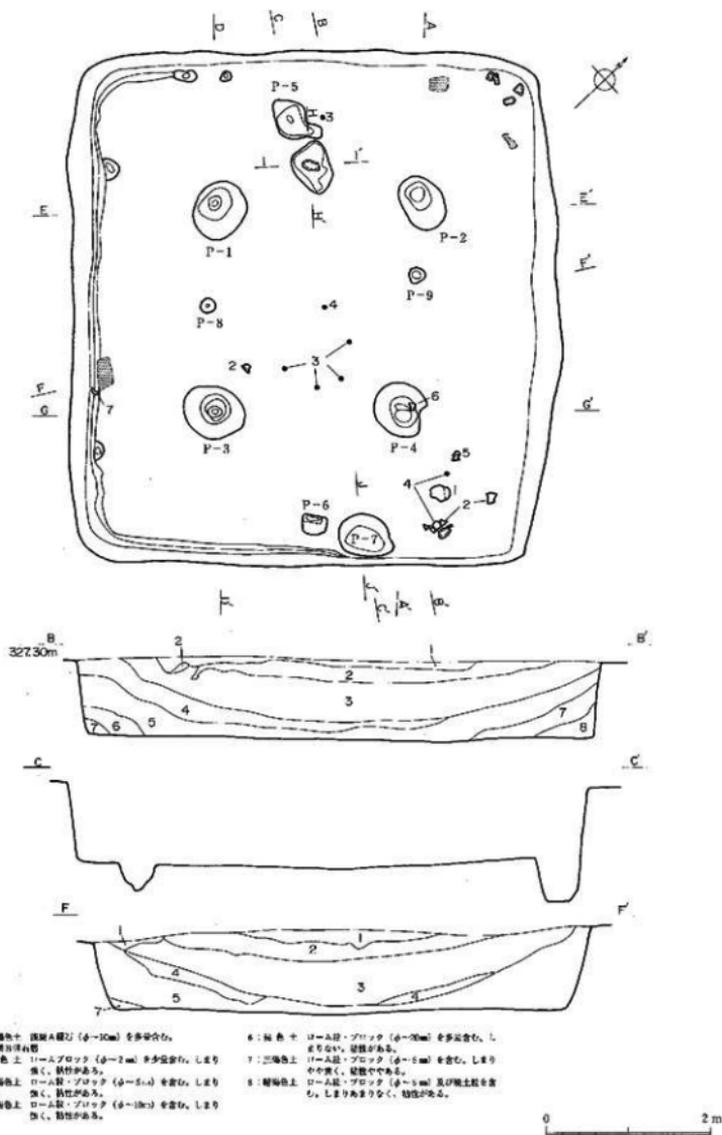
第17図 2号住居跡①



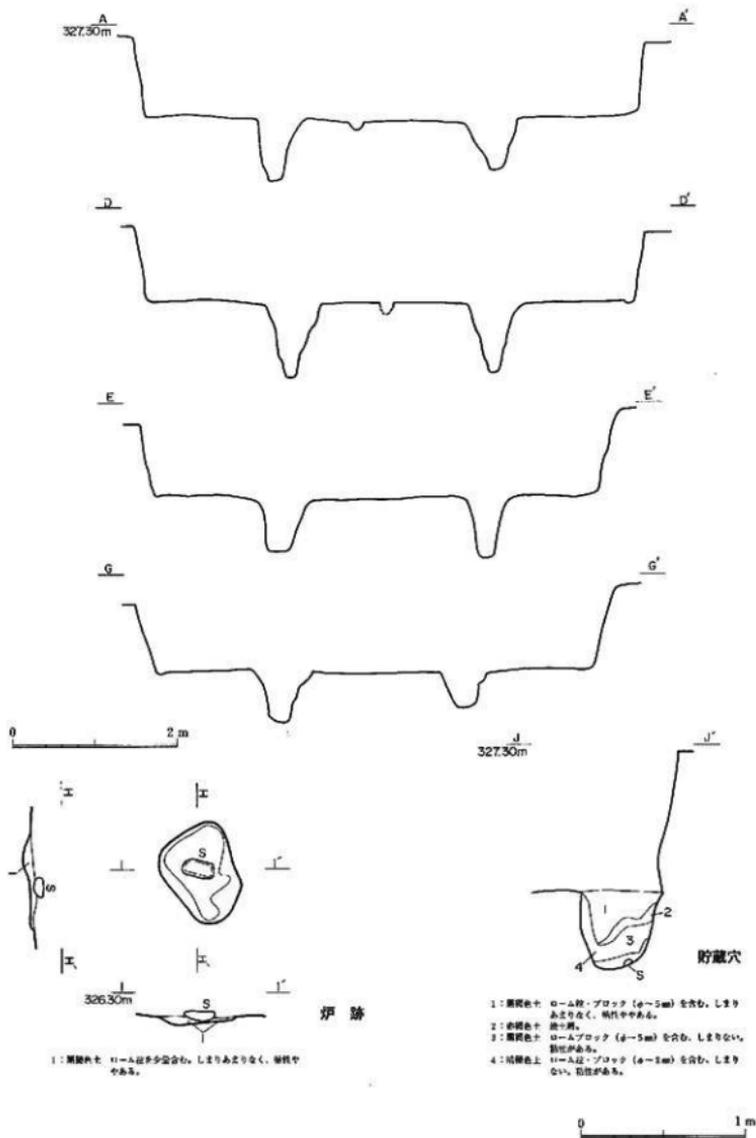
- 1: 黒色粘土 しまりあまりなく、磁化ややまら。
- 2: 黒色粘土 コム粒が少量混入、しまり堅く、磁化ややまら。
- 3: 黒色粘土 コム粒・ブロッコ (φ=5mm) を含む、しまり堅く、磁化ややまら。



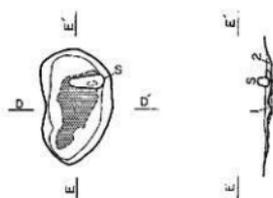
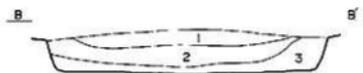
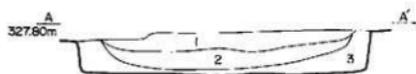
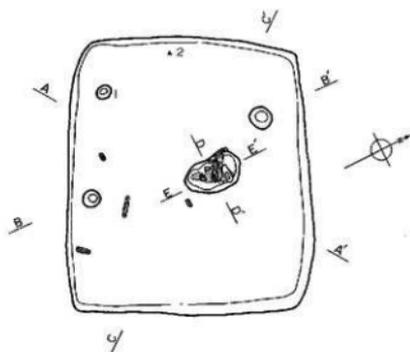
第18図 2号住居跡②



第19図 6号住居跡①



第20図 6号住居跡②



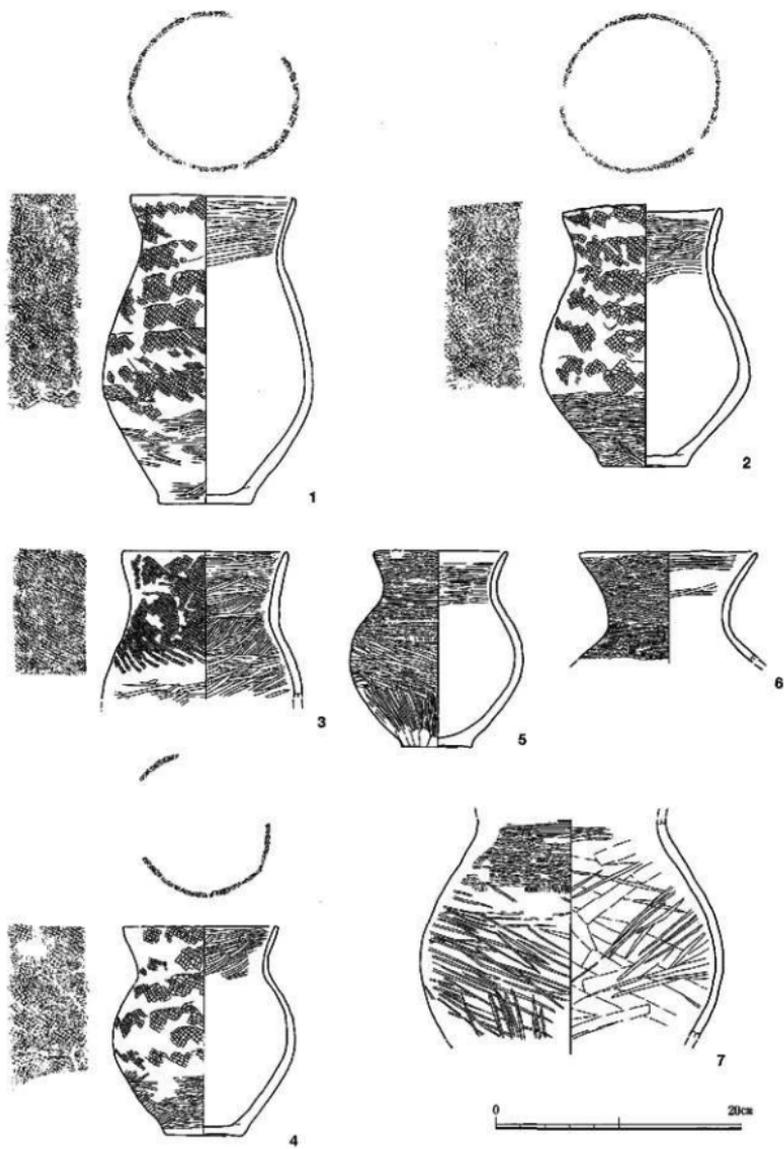
炉跡

- 1: 灰色土 ローム質ブロック (4-2m) を少量含む。しまり強く、粘性がある。
- 2: 暗褐色土 石灰質・ローム質を少量含む。しまり強く、粘性がある。
- 3: 暗褐色土 ローム質・ブロック (4-2m) 及び炭化灰を中々多く含む。しまり強く、粘性がある。

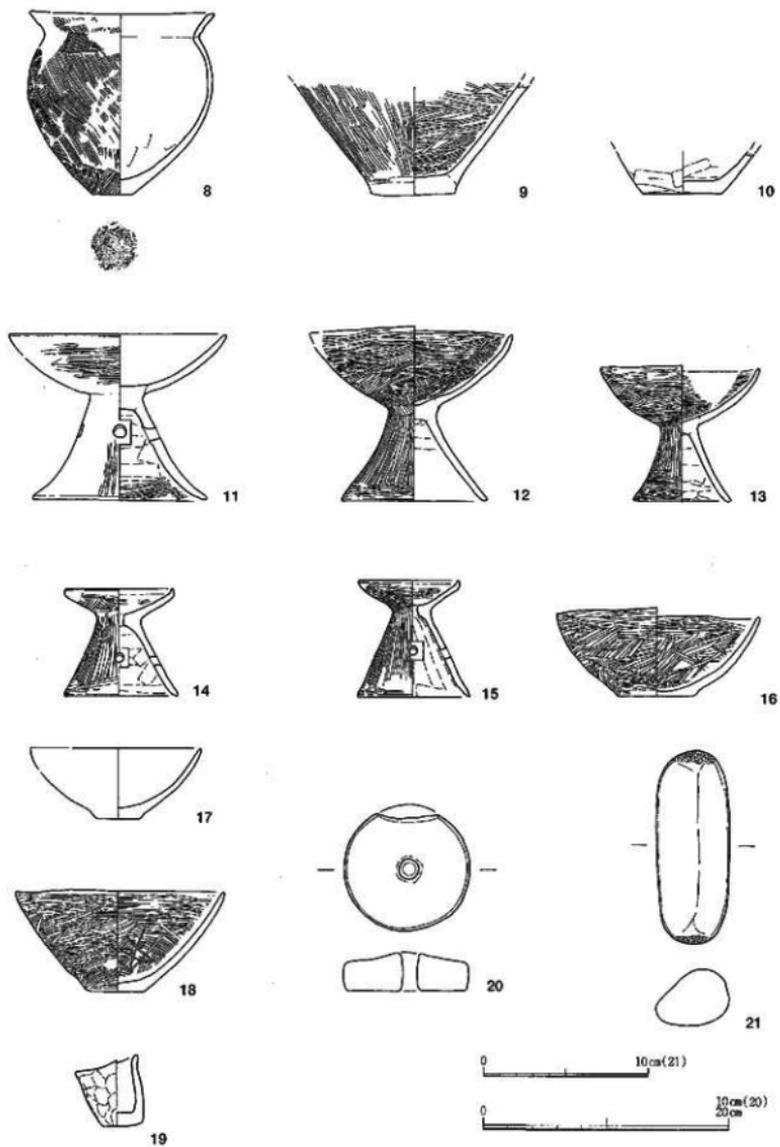
- 1: 暗褐色土 黄土質・石灰質・ローム質を少量含む。しまり強く、粘性がある。
- 2: 暗褐色土 黄土質・ローム質を少量含む。しまり強く、粘性がある。



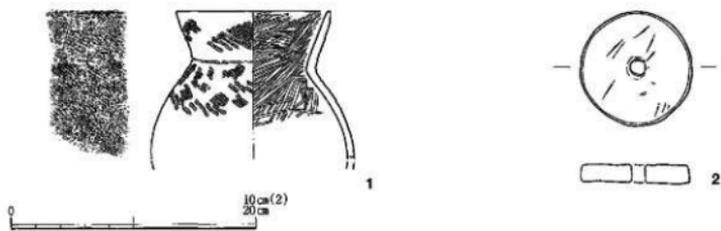
第21図 5号住居跡



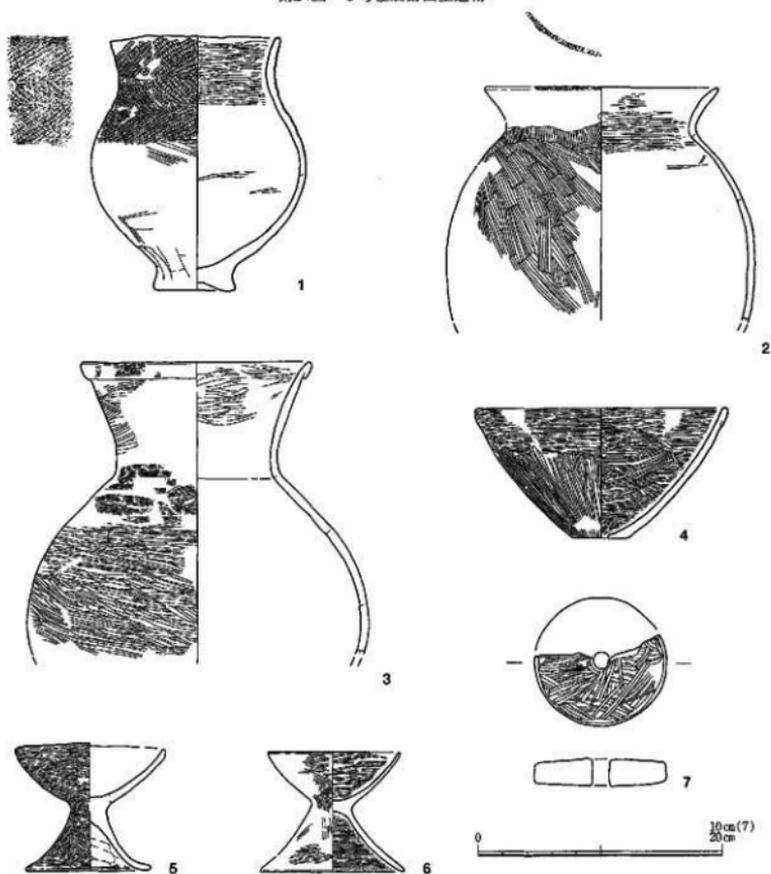
第22図 2号住居跡出土遺物①



第23图 2号住居跡出土遺物②



第24图 5号住居跡出土遺物



第25图 6号住居跡出土遺物

遺物観察表

3号住居跡 (第12図, P.L.8)

番号	器種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	漆鉢	口縁部片	流状口縁。平直付着による流線系形文を3~4段に施文。	黄褐色	織織・石英・チャート	2
2	漆鉢	口縁部片	彫刻口縁。	黄褐色	織織・チャート・白色	20
3	漆鉢	口縁部片	流状口縁と思われる。平行流線・系形文。	灰黄褐色	織織・チャート・白色	18
4	漆鉢	口縁部片	L.R.織文。	灰白~グリーン	織織・石英・角閃石	1
5	漆鉢	L.R.織文片	器型定れるが、器子目紋に施糸文を施文するようである。	にぶい黄褐色	織織・チャート・白色	24
6	磁石	長さ:11.4, 幅:9.7, 厚さ:6.6。 / 裏面に凹み1。裏面に浅凹痕あり。		重さ:849.2g	石材:安山岩	S-4
7	打製石斧	長さ:8.4, 幅:5.4, 厚さ:2.9。		重さ:118.1g	石材:河原	S-4
8	打製石斧	長さ:7.8, 幅:5.2, 厚さ:2.3。 / 上部欠損。		重さ:121.7g	石材:輝緑凝灰岩	S-18
9	磨製石斧	長さ:5.0, 幅:3.9, 厚さ:1.6。		重さ:23.9g	石材:蛇文岩	S-24
10	磨製	長さ:6.5, 幅:3.7, 厚さ:0.9。 / 板刃。		重さ:34.6g	石材:河原	S-12
11	石匙	長さ:3.1, 幅:4.4, 厚さ:0.9。		重さ:7.5g	石材:チャート	S-10

4号住居跡 (第13図, P.L.8)

番号	器種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	漆鉢	口縁部片	緩やかな流状口縁。L.R.織文。	淡黄色	織織・石英・角閃石	-
2	漆鉢	口縁部片	流状口縁。平行流線・系形文。	にぶい赤褐色	織織・片岩・石英	30
3	漆鉢	口縁部片	緩やかな流状口縁。粗粒多角状文。	灰黄褐色	織織・石英・白色粒	32
4	漆鉢	口縁部片	L.R.織文片	にぶい黄褐色	織織・チャート・白色	32
5	漆鉢	口縁部片	流状口縁か。流線部。列状刻痕文。	淡黄褐色	織織・石英・白色粒	-
6	漆鉢	破片	器子目紋に施糸文。	にぶい黄褐色	織織・石英・チャート	22
7	漆鉢	胴部片	施糸文。	にぶい黄褐色	織織・チャート・赤色	30
8	漆鉢	口縁部付近片	口縁部下に施等を施らる。ループ文・L.R.織文。	黄褐色	織織・チャート・白色	20
9	石匙	長さ:6.8, 幅:4.2, 厚さ:2.2。		重さ:44.7g	石材:河原	S-8
10	磨製	長さ:5.1, 幅:5.7, 厚さ:1.4。		重さ:36.2g	石材:河原	-
11	磨製	長さ:10.7, 幅:4.2, 厚さ:2.1。		重さ:112.4g	石材:河原	-
12	打製石斧	長さ:8.7, 幅:4.8, 厚さ:1.3。 / 裏面に自然面を残す。		重さ:66.4g	石材:河原	S-9
13	石匙	長さ:2.1, 幅:1.2, 厚さ:0.05cm。 / 基部欠損。		重さ:0.9g	石材:チャート	-
14	(石匙)	長さ:1.9, 幅:1.3, 厚さ:0.5。 / 石底の尖鋭部と思われる。		重さ:1.2g	石材:輝緑石	S-7

1号土坑 (第16図, P.L.8)

番号	器種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	漆鉢	底部付近片	0段多角織文。 / 内面に凹付付着。	赤赤褐色	織織・石英・チャート	-

2号土坑 (第16図, P.L.8)

番号	器種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	漆鉢	破片	器子目紋施糸文。	褐色	織織・石英・チャート	1
2	漆鉢	破片	平行流線・系形文。	にぶい赤褐色	織織・片岩・チャート	4
3	漆鉢	胴部片	R:織文。 / 外側に集付着。	灰黄褐色	織織・チャート・白色	3

遺構外出土遺物 (第16図, P.L.8)

番号	器種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	漆鉢	口縁部片	平行流線・系形文。	にぶい黄褐色	織織・片岩・チャート	P-20
2	漆鉢	口縁部片	R.L.織文。 / 縁部孔あり。	にぶい黄褐色	石英・角閃石・白色粒	U-16
3	漆鉢	口縁部片	3.L.織文片。口縁部下に1金の流線。	黄褐色	石英・角閃石・白色粒	-
4	漆鉢	胴部片	R:織文片。R:織文。R:織文。	黄褐色	石英・角閃石・白色粒	B-16
5	磨石	長さ:11.7, 幅:7.6, 厚さ:3.9。 / 凹部→磨石。赤褐色部が磨石付着。		重さ:538kg	石材:安山岩	-
6	磨石	長さ:10.7, 幅:13.1, 厚さ:4.3。		重さ:627.7g	石材:河原	D-1
7	打製石斧	長さ:8.5, 幅:3.4, 厚さ:1.5。 / 刃部欠損。		重さ:30.6g	石材:河原	-
8	磨石	長さ:6.1, 幅:7.0, 厚さ:1.5。		重さ:57.2g	石材:安山岩	-
9	石匙	長さ:7.4, 幅:6.9, 厚さ:2.4。 / 兼磨石。		重さ:79.2g	石材:河原	-
10	石匙	長さ:2.1, 幅:1.3, 厚さ:0.3。 / 先端部欠損。		重さ:0.4g	石材:輝緑石	-

2号住居跡① (第22・23図, P.L.9-10)

番号	器種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	甕	口径:13.6 底径:7.5 高さ:26.0 / 14.7定形	外面。口縁部~胴部中位はR.L.織文を斜め短線状に等長多段施文。下半部は縦位系形文へ変化する。内面。縦位・斜位のへら磨き。口唇部にも織文施文。 / 外面磨付着。	淡黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色 色調・チャート	16
2	甕	口径:13.1 底径:7.2 高さ:21.2 / 14.4定形	外面。口縁部~胴部中位はR.L.織文を斜位に短線多段施文。下半部は縦位系形文へ変化する。内面。縦位・斜位のへら磨き。口唇部にも織文施文。 / 外面磨付着。	黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色 色調・チャート	28
3	甕	口径:13.7 / 1平部	外面。口縁部~胴部上平部L.R.織文。下半部は縦位系形文へ変化する。内面。縦位・斜位のへら磨き。 / 外面磨付着。	褐色	角閃石・白色粒・赤褐色 色調・チャート	25
4	甕	口径:12.6 底径:6.3 高さ:17.1 3/6	外面。口縁部~胴部中位はR.L.織文を斜位に短線多段施文。下半部は縦位系形文へ変化する。内面。縦位・斜位のへら磨き。口唇部にも織文施文。 / 外面磨付着。	褐色	角閃石・白色粒・赤褐色 色調・チャート	17-20

2号住居跡②

番号	形種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
5	罍	口径: 11.0 底径: 5.8 胎高: 15.9 / ほぼ完成形	外周、胴部に縞線状文、その上下に底状文、胴部中に横紋・斜交ヘラ跡あり、下位は縦紋ヘラ跡あり。内面、横紋・斜交縞のヘラ跡あり。/ 外周に縦紋あり。	明黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒・チャート	7
6	壺	口径: 2.45 / 口縁一部欠損	外周、胴部に縞線状文、その上下に底状文。内面、口縁部は縦紋のヘラ跡ありと認められるが不明。	淡黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒・チャート	14
7	壺	口径: 11.0 底径: 5.8 胎高: 15.9 / ほぼ完成形	外周、胴部に縞線状文、胴部に底状文、胴部は縦紋・斜交縞の縞線なヘラ跡あり、下部には縦紋ヘラ跡あり。内面、横紋・斜交縞のヘラ跡あり。/ 外周に縦紋あり。	黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒・チャート	27
8	罍	口径: 15.1 底径: 3.2 胎高: 14.5 5/6	口縁部「く」の字状に開く。外周、ハケ目後に口縁部を横線なナガ、胴部にもハケ目あり。内面、ナガ。/ 外周下部に底状文。	褐色	燧石粒、白色粒、赤褐色粒	11
9	(壺)	口径: 6.9 胎高: 11.7 / 一部欠損	外周、胴部下半を縦紋ヘラ跡あり、下位は横紋ヘラ跡あり。内面、横紋・斜交のヘラ跡あり。/ 外周に底状文。	黄褐色	角閃石・白色粒・石英	1
10	(壺)	口径: 8.3 / 底部分欠	外周、胴部上部に縞線状文あり。内面、ヘラナガ。	黄褐色	角閃石・白色粒・石英	附1
11	高坏	口径: 17.9 底径: 14.3 胎高: 13.5 / ほぼ完成形	坏部は内周して立ち上がり、胴部は外反する。胴部に横紋あり。外周及び内周内面にヘラ跡を認すが不鮮明。胴部内面にはヘラナガ後に縞線を横紋ヘラ跡あり。	褐色	角閃石・白色粒・チャート・石英	23
12	高坏	口径: 16.4 底径: 11.8 胎高: 14.1 / ほぼ完成形	坏部は内周して立ち上がり、胴部は外反欠損に開く。坏部内周には横紋・斜交ヘラ跡あり。胴部外周に底状文、下位は横紋ヘラ跡あり。胴部内面はナガ。/ 外周に底状文。	にぶい黄褐色	角閃石・白色粒・チャート・石英	24
13	高坏	口径: 13.0 底径: 8.0 胎高: 11.1 / 一部欠損	坏部内周には横紋・斜交ヘラ跡あり。胴部外周は横紋、下部は横紋ヘラ跡あり。胴部内面はナガ。/ 内周に横紋、外周に底状文。	にぶい黄褐色	角閃石・白色粒・石英	15
14	胎土	口径: 6.9 底径: 9.3 胎高: 8.7 / 一部欠損	口縁部短く上方に折れる。胴部ラッパ状に開き、胎孔4。胎部内外に横紋ヘラ跡あり。胴部外周に底状文、下部横紋ヘラ跡あり。胴部内面ナガ。/ 胎空部内面に赤紫の縞線。	明赤褐色	石英・燧石・白色粒	9
15	胎土	口径: 8.3 底径: 9.2 胎高: 9.5 / ほぼ完成形	口縁部短く上方に折れる。胴部ラッパ状に開き、胎孔4。胎部内外に横紋ヘラ跡あり。胴部外周に底状文、下部横紋ヘラ跡あり。胴部内面ナガ。/ 胎空部内面に赤紫の縞線。	明赤褐色	石英・燧石・白色粒	19
16	鉢	口径: 16.6 底径: 6.2 胎高: 7.1 / ほぼ完成形	外周、内周共に立ち上がる。外周、内面とも横紋・斜交のヘラ跡あり。/ 外周一部と内周部に横紋あり。	褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒・石英	21
17	鉢	口径: (13.9) 底径: 3.6 胎高: 5.8 / 口縁欠	小きめの底部から腹内側に立ち上がり、外周、内面とも横紋・斜交のヘラ跡ありと認められるが不鮮明。	明黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒・チャート	18
18	鉢	口径: 17.0 底径: 5.0 胎高: 8.2 3/4	外周、内周共に立ち上がる。外周、内面とも横紋・斜交のヘラ跡あり。	明黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒	2
19	手取土器	口径: 6.2 底径: 3.2 胎高: 5.8	外周、縦線状文。内面、ナガ。	黄褐色	角閃石・白色粒・赤褐色粒・石英	4
20	紡輪車	径: 5.1、厚さ: 1.6、孔径: 0.6 / 一部欠損	土製品。裏面に横紋あり。	褐色	角閃石・白色粒・石英	-
21	破石	長さ: 11.7、幅: 4.5、厚さ: 3.5 / 上下縁部に縦紋あり。		褐色	270.9g 石粒: 安山岩	5-4

5号住居跡 (第24区、P.L10)

番号	形種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	罍	口径: 12.5 / 上半部欠	外周、口縁部。内面、横紋・斜交のヘラ跡あり。/ 外周に底状文。	明赤褐色	角閃石・白色粒	11
2	紡輪車	径: 4.6、厚さ: 0.8、孔径: 0.7 / 完成品	土製品。	黄褐色	角閃石・白色粒・石英	-

6号住居跡 (第25区、P.L10)

番号	形種	計測値 (cm) / 残存	形状・文様等の特徴/備考	色調	胎土	注記
1	罍	口径: 13.9 底径: 6.6 胎高: 20.7 / ほぼ完成形	赤部、黄褐色。外周、口縁部一帯部上半は土質文を横紋に置き、胴部下半に横紋・斜交のヘラ跡を認すが不鮮明。内面、横紋・斜交のヘラ跡あり。/ 外周に底状文。	黄褐色	角閃石・白色粒・チャート・石英	32
2	壺	口径: 19.0 / 上半部片	胴部からみ、口縁部は「く」の字状に外反して開く。口縁部に横紋あり。外周、胴部ハケ目、口縁部ナガ。内周、口縁部縦紋ヘラ跡あり。胴部縞線不明。/ 口縁部ナガ。	黒褐色	角閃石・白色粒・チャート・石英	16-33 4-5 35
3	罍	口径: 15.9 / 上半部の1/2	頸部より上は縞線。外周、口縁部に縞線状文、口縁部下部は横紋・斜交ヘラ跡あり。胴部は縞線状文、下部は横紋・斜交ヘラ跡あり。内面、横紋・斜交のヘラ跡あり。胴部縞線不明。/ 口縁部ナガ。	にぶい黄褐色	角閃石・白色粒・石英	1-3 4-5 15 他
4	罍	口径: 20.6 底径: 4.7 胎高: 10.5 3/4	小きめの底部から内周側に立ち上がりやや膨らむ口縁部を横紋に置き、胴部下部に横紋・斜交のヘラ跡あり。以下は縦紋ヘラ跡あり。内周、横紋・斜交のヘラ跡あり。	黄褐色	角閃石・白色粒・チャート・石英	29-33
5	高坏	口径: 12.3 底径: 10.3 胎高: 10.4 3/4	坏部は内周して立ち上がり、胴部は外反する。外周、ヘラ跡あり。内周、坏部はヘラ跡を認すが不鮮明。胴部はナガで、縞線を横紋ヘラ跡あり。	明黄褐色	角閃石・白色粒・チャート・石英	31
7	高坏	口径: 10.9 底径: 11.8 胎高: 8.7 3/4	坏部は内周して立ち上がり、胴部は外反欠損に開く。外周、ヘラ跡を認すが不鮮明。内周、坏部は横紋のヘラ跡あり。胴部は横紋・斜交のヘラ跡あり。胴部外周に赤紫の縞線あり。	黄褐色	角閃石・燧石・白色粒・チャート	P=1
7	紡輪車	径: 5.5、厚さ: 1.1、孔径: 0.8cm / 一部欠損	表面縞・裏面にヘラ跡あり。	明黄褐色	角閃石・白色粒	-

第4章 まとめ

第1節 縄文時代

検出された縄文時代の住居跡は3号・4号住居跡のみで、2軒とも前期黒浜・有尾式期のものである。本遺跡の北北西約1.0kmに位置する行田大道北遺跡東地区（第3岡）¹⁾からは黒浜・有尾式期の住居跡28軒が検出されており、これらは重複するものや数回の拡張が行われているものが多い。また、同遺跡の集落は中期初頭までの継続性がみられる。本遺跡の集落は、行田大道北遺跡や東方約6.5kmに位置する安中市・大下原遺跡²⁾などの遺跡と比較しても、一時的に居住域に遷地された非継続的小規模集落といえる。ただ、3号・4号住居跡の間には60mもの距離があり、1単位の集落とするには疑問が残る。

第2節 古墳時代

今回の調査では、(弥生時代末葉～)古墳時代初頭の住居跡が3軒（2号・5号・6号住居跡）検出された。各住居跡は長い間隔を持って分布しており、2号・5号住居跡間は52m、2号・6号住居跡間は約70m、5号・6号住居跡間は約30m離れる状態にある。トレンチ調査のため断定はできないものの、住居跡がそれほど密集している状態は想定し難く、きわめて散在的な集落と考えても大過ないと思われる。また、先述した縄文前期集落と同様、非継続的な集落でもある。松井田町では古墳時代初頭の集落遺跡が松井田町・人見東原遺跡³⁾でも調査されているが、やはり非継続的な小規模集落である。

床面積をみると、2号住居跡が25.0㎡、5号住居跡が8.5㎡、6号住居跡が31.7㎡で、5号住居跡は極端に小さい。規模には差異が認められるものの、各住居跡は1点ずつの上製紡錘車が出土していることで共通している。なお、本遺跡の南方約3kmに位置する富岡市・和田遺跡⁴⁾でも古墳時代初頭の住居跡1軒が検出されており、2点の土製紡錘車が出土している。今後の検討を要するものの、土製紡錘車の出土は本地域における古墳時代初頭住居跡に通有の特徴といえそうである。

また、本遺跡の各住居跡からは、縄文施文の吉ヶ谷式系土器と櫛摺文系（櫛式系）土器が出土しているが、人見東原遺跡でみられる吉ヶ谷式系・櫛式系の折衷土器（櫛摺文と縄文が施文された土器）や、S字状口縁の甕は検出されていない。本遺跡の住居跡は人見東原遺跡よりも若干先行するようであり、本遺跡の土器資料は吉ヶ谷式系・櫛式系が折衷するに至る前段階の様相を示しているといえる。

〔註・文献〕

- 1) 同遺跡の報告書『八城二本杉東遺跡・行田大道北遺跡』は松井田町遺跡調査会から1997年3月に刊行される。
- 2) 安中市教育委員会 1993『大下原遺跡・吉田原遺跡』
- 3) 人見東原遺跡は松井田町大字人見に所在し、松井田町埋蔵文化財調査会が平成8年10月9日～同11月15日にかけて約1,670㎡を調査している。調査では、古墳時代初頭の住居跡3軒が検出されたのみであった。報告書は平成9年度に刊行の予定である。
- 4) 富岡市教育委員会 1994『和田遺跡』

付編1 行田二本杉遺跡の炭化材同定

パリオ・サーヴェイ株式会社

1. 試料

試料は行田二本杉遺跡出土の25点である。各試料の検出遺構は縄文時代前期・古墳時代初頭と推定されている。なお、作業の便宜のため試料にはNo.1~25の試料番号を付した(表1)。本報文中では試料はすべてこの試料番号で表すことにする。

2. 方法

試料を乾燥させたのち木口・柀目・板目の3断面を作成、実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡(無蒸着・反射電子顕微鏡)で観察・同定した。同時に電子顕微鏡写真も作製した。

3. 結果

試料の中には小さすぎたり状態が不良であったり、手元の現生標本には該当するものが見あたらないため同定できないものもあったが、24点が以下の4種類(Taxa)に同定された。試料の主な解剖学的特徴や、現生種の一般的な性質は次のようなものである。

・カヤ(*Torreya nucifera*) イチイ科 No.17, 19, 21

早材部から晩材部への移行はやや急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞、樹脂道はない。放射仮道管はなく、放射細胞の壁は滑らか、分節壁はヒノキ型(Cupressoid)で1~4個。放射組織は単列、1~10細胞高。仮道管内壁には対をなしたらせん厚層が認められる。

カヤは、本州(岩手・山形県以南)・四国・九州の常緑広葉樹林中に点生する常緑高木で、樹高25~30mにもなるが、生長は極めて遅い。庭木として植栽されることも多く、いくつかの変・品種がある。その材は針葉樹としては重い方で、強度は中程度、割裂性は大きく、加工は容易、保存性特に耐水性に優れる。建築・各種橋脚・木地・器具・家具材など各種の用途が知られ、薪炭としては最高級品とされる。

・コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の種 [*Quercus* (subgen. *Lepidobalanus* sect. *Prinus*) sp.]

ブナ科 No.1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・20・23・24

環孔材で孔圍部は1~3列、孔圍外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は横断面では楕円形、小道管は横断面では多角形、ともに単独。單穿孔を有し、壁孔は交差状に配列、放射組織との間では櫛状~網目状となる。放射組織は同性、単列、1~20細胞高のものも複合組織よりなる。柔組織は周囲状及び短接線状。年輪界は明瞭。

コナラ節は、コナラ亜属(落葉ナラ類)の中で、果実(いわゆるドングリ)が1年目に熟するグループで、モンゴリナラ(*Quercus mongolica*)とその変種ミズナラ(*Q. mongolica* var. *grosseserrata*)、コナラ(*Q. serrata*)、ナラガシワ(*Q. alicna*)、カシワ(*Q. dentata*)といくつかの変・品種を含む。モンゴリナラは北海道・本州(丹波地方以北)に、ミズナラ・カシワは北海道・本州・四国・九州に、ナラガシワは本州(岩手・秋田県以南)・四国・九州に分布する。このうち関東地方平野部で普通に見られるのはコナラである。コナラは樹高20mになる高木で、古くから薪炭材として利用され、植栽されることも多かった。材は重硬で、加工は困難、器具・機械・構材などの用途が知られ、薪炭材としてはクスギ(*Q. acutissima*)に次ぐ優良材である。

・クリ (*Castanea crenata*) ブナ科 No.25

環孔材で孔部は1~6列、孔間外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火災状に配列する。大道管は単独、横断面では円形~楕円形、小道管は単独および2~3個が斜(放射)方向に複合、横断面では角張った楕円形~多角形。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では櫛状~網目状となる。放射組織は同性、単列、1~15細胞高。柔組織は周囲状および擬接線状。年輪界は明瞭。

クリは北海道西南部・本州・四国・九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工はやや困難であるが耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材、樹木や海苔粗朶などの用途が知られている。

・ケンボナシ (*Ilovenia dulcis*) クロウメモドキ科 No.18・22

環孔材で孔部は1~5列、孔間外で急激に管径を減じたのち漸減する。大道管は横断面では楕円形、単独、小道管は横断面では円形~楕円形、単独および放射方向に2~3個が複合する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性Ⅱ型、1~6細胞幅、1~50細胞高。柔組織は周囲状~翼状、散在状およびターミナル状。年輪界は明瞭。

ケンボナシは北海道(奥尻島)・本州・四国・九州に自生する落葉高木で、時に植栽される。材の重さ・硬さは中程度で、加工は容易、材質は良好である。このため建築裝飾材・家具材として賞用され、器具・楽器・施作・薪炭材などにも用いられる。

以上の同定結果を検出遺構などとともに一覧表で示す(表1)。

表1

試料番号	遺構など	時代	種名
1	2号住居-1	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
2	2号住居-2	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
3	2号住居-3	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
4	2号住居-4	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
5	2号住居-5	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
6	2号住居-6	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
7	2号住居-7	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
8	2号住居-8	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
9	2号住居-9	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
10	2号住居-10	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
11	2号住居-11	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
12	2号住居-12	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
13	2号住居-13	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
14	2号住居-14	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
15	2号住居ピット	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
16	8号住居-1	縄文時代前期	種類不明(節)
17	5号住居-1	古墳時代初期	カヤ
18	5号住居-3	古墳時代初期	ケンボナシ
19	5号住居-4	古墳時代初期	カヤ
20	5号住居-5	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
21	5号住居-6	古墳時代初期	カヤ
22	5号住居-7	古墳時代初期	ケンボナシ
23	5号住居-2	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
24	6号住居No.32	古墳時代初期	コナラ属(コナラ亜属コナラ節)の一種
25	1号築石土坑	(縄文時代前期)	クリ

付編 2 関越自動車道(上越線)関連遺跡の黒曜石分析結果

立教大学理学部 鈴木 正男

各遺跡の黒曜石水和層年代測定結果は試料番号順に別表に示した。

(1) 八城二本杉東遺跡

八城二本杉東遺跡 (No. 01-20) の20点の黒曜石試料の産地は、星ヶ塔産8点、和田峠産12点である。

(2) 行田大道北遺跡

行田大道北遺跡 (No. 01-50) の50点の黒曜石試料の産地は、星ヶ塔産26点、男女倉産1点、和田峠産23点である。

(3) 新堀東源ヶ原遺跡

新堀東源ヶ原遺跡 (No. 01-46) の46点の黒曜石試料の産地は、星ヶ塔産42点、和田峠産4点である。

新堀東源ヶ原遺跡は発掘調査の所見から縄文時代中期を中心とする遺跡であるという。年代測定が可能であった試料の結果について要約すると、33点の星ヶ塔産黒曜石のうち10点が約6,100年前、10点が約7,200年前、4点が約11,900年前、9点が離散値を示した。離散値のうち4点は自然剥離の時期を示すものと考えられる。和田峠産の2点は約4,400年前を示した。したがって、和田峠産の2点を除くと、発掘時の所見と必ずしも一致しない。

(4) 五料野ヶ久保遺跡

五料野ヶ久保遺跡 (No. 01-49) の49点の黒曜石試料の産地は、星ヶ塔産18点、男女倉産18点、和田峠産30点である。

五料野ヶ久保遺跡は縄文時代後期中葉の配石遺構、配石墓、土坑、炉、住居跡などが観察されるという。年代測定が可能であった試料の結果について要約すると、12点の星ヶ塔産黒曜石のうち3点が約3,100年前、3点が約4,100年前、2点が約5,200年前、4点が約8,000年前、2点が離散値を示した。27点の和田峠産黒曜石のうち12点が約3,000年前、13点が約4,300年前、2点が約12,000年前を示した。

(5) 横川大林遺跡

横川大林遺跡 (No. 01-100) の100点の黒曜石試料の産地は、星ヶ塔産36点、男女倉産11点、和田峠産52点、八ヶ岳産1点である。産地ごとの検出数の時間的変遷をまとめると下表のようになる。

年 代	星ヶ塔	男女倉	和田峠	八ヶ岳	合 計
5,000	0	0	6	0	6
6,000	0	1	15	0	16
7,000	0	0	15	0	15
8,000	0	2	5	1	8
9,000	5	1	2	0	8
10,000	6	1	0	0	7
11,000	5	0	1	0	6
12,000	6	1	0	0	7
13,000	3	3	0	0	6
合 計	25	9	44	1	79

旧石器時代末期から縄文時代早・前期への移り変わりがみられる。

八城二本杉東遺跡

No.	出土位置	Sm	U	Th	Pb	Sc	Fe	La	Sr	年代	木相判定
1	1号柱	8.96809	10.2633	32.4294	4.67939	5.91605	0.59180	35.9905	WADATOGE	6100	6.63
2	1号柱	8.96571	10.6177	32.8633	4.89633	6.00821	0.516621	37.3379	WADATOGE	3700	6.37
3	1号柱	8.75673	9.80191	31.0514	4.65061	5.5637	0.551312	39.3090	WADATOGE	6100	6.63
4	6号柱	8.53759	10.4736	32.1620	4.77687	5.94727	0.306768	26.5733	WADATOGE	5700	6.33
5	6号柱	8.61612	9.06942	29.577	4.60347	5.60626	0.577947	29.8738	WADATOGE	5700	6.33
6	6号柱	8.16287	8.69612	28.311	4.9033	5.11611	0.51761	27.4639	WADATOGE	6600	6.74
7	20号柱	8.44411	8.58490	27.1203	4.11013	4.91902	0.563658	31.9598	WADATOGE	6100	6.67
8	20号柱	8.73505	9.85302	31.6389	4.91898	5.79332	0.505058	27.127	WADATOGE	5300	6.04
9	20号柱	7.97788	7.72367	26.4006	4.08922	48.4943	0.566681	31.8002	WADATOGE	6000	6.65
9	22号柱	6.24115	11.2756	31.0296	3.82397	5.21628	0.522282	18.6122	ROSHIGAT	6900	5.22
10	22号柱	8.72946	10.3777	32.0202	5.00995	6.00771	0.539946	27.2372	WADATOGE	6100	6.53
11	22号柱	8.83336	10.1353	32.1237	4.94154	5.97455	0.652069	28.2681	WADATOGR	3200	6.61
12	22号柱	8.35526	9.31091	28.1237	4.94154	5.97455	0.652069	28.2681	ROSHIGAT	6000	5.22
13	24号柱	3.90899	3.13094	11.5798	3.0133	3.57317	0.487974	7.9295	ROSHIGAT	5500	5.02
14	24号柱	8.16609	3.93425	12.1786	3.37338	3.27708	0.474304	19.0499	ROSHIGAT	5500	5.06
15	24号柱	6.34151	4.4513	12.2891	3.58536	3.38796	0.534458	18.9192	ROSHIGAT	6000	5.31
16	85号十坑	8.72821	8.44122	30.4698	4.82295	6.19077	0.745405	38.3399	WADATOGE	5200	6.45
17	85号十坑	5.05167	4.17993	11.3235	2.97387	3.06135	0.417901	14.5423	ROSEIGAT	5500	5.02
18	307号上坑	6.07315	5.22339	11.9411	3.59452	3.30298	0.456134	17.8914	ROSHIGAT	5600	5.06
19	307号上坑	6.1474	3.90653	11.7965	3.68842	3.29262	0.581087	18.6273	ROSHIGAT	9100	6.45
20	307号上坑	6.06923	3.93742	11.4373	3.74015	3.47383	0.375481	28.0132	ROSEIGAT	9100	6.45

行田大道北遺跡

No.	出土位置	Sm	U	Th	Pb	Sc	Fe	La	Sr	年代	木相判定
1	4号柱	8.52265	9.67581	31.9777	4.79033	5.8315	0.488947	29.3087	WADATOGE	5500	6.2
2	4号柱	6.16494	3.95827	11.7303	3.65897	3.19784	0.469721	18.3668	HOSHIGAT	5500	5.02
3	4号柱	8.76542	9.69446	31.7147	5.06857	5.83104	0.46231	26.0246	WADATOGE	5900	6.25
4	4号柱	8.94222	9.53729	32.6773	4.83663	5.94333	0.595468	26.7456	WADATOGE	5900	6.12
4	4号柱	8.75	9.81	32.15	5.01	5.99	0.548	26.2	WADATOGE	5500	6.12
6	25号柱	6.13211	4.24763	11.8219	2.98878	3.38756	0.514685	18.3257	ROSHIGAT	2500	10.82
7	25号柱	8.84341	9.94709	32.9042	4.7985	5.86292	0.454667	26.0452	WADATOGE	8500	2.76
8	25号柱	8.71492	9.27964	31.6933	4.77275	5.88474	0.528423	25.6233	WADATOGE	6700	6.86
9	25号柱	7.80725	7.68904	30.9656	4.87493	5.06512	0.615926	29.2736	WADATOGE	1400	5.54
10	30号柱	9.06852	9.39884	33.9411	5.45735	6.06492	0.525147	28.0081	WADATOGE	7800	7.43
11	30号柱	6.12227	3.6271	11.7181	3.31123	3.43994	0.480891	19.0703	ROSHIGAT	7700	5.96
12	30号柱	9.09324	10.1127	33.8595	4.98366	6.085	0.523805	27.2747	WADATOGE	7800	7.35
13	55号柱	6.02675	3.36183	11.2212	2.75473	3.12758	0.483862	18.5747	ROSEIGAT	7700	6.84
14	58号柱	8.60298	4.81906	11.7001	3.504	3.17996	0.380331	17.7233	ROSHIGAT	7700	6
15	58号柱	8.13853	4.00946	12.1017	3.44077	3.3218	0.521303	18.1765	ROSHIGAT	7700	5.96
16	65号柱	5.75621	3.36978	11.3307	3.08038	3.19335	0.474615	16.6007	ROSHIGAT	7400	5.71
17	65号柱	5.95462	3.3044	11.3407	3.09612	3.1301	0.41065	18.3018	ROSHIGAT	7400	5.71
18	65号柱	5.96349	3.30266	11.5993	4.29222	3.25883	0.444415	19.4384	ROSHIGAT	7400	5.96
19	77号柱	5.98411	3.05281	11.2242	3.13295	3.19704	0.496205	17.9852	ROSHIGAT	8900	6.45
20	77号柱	8.9751	11.9	38.1634	3.40646	6.81062	0.675405	33.3079	WADATOGE	6300	6.69
21	77号柱	6.34643	4.25473	12.273	3.30787	3.38919	0.49583	19.9082	ROSHIGAT	8900	6.37
22	77号柱	8.8441	9.90442	31.3635	4.78999	5.66821	0.516449	27.3554	WADATOGE	6300	6.61
23	80号柱	8.71746	9.71043	32.9416	4.60701	5.86878	0.51077	28.1667	WADATOGE	8600	7.06
24	80号柱	8.80056	13.3	38.0045	5.34221	6.88085	0.694862	18.2898	WADATOGE	8600	7.14
25	80号柱	8.60682	9.66013	30.718	4.27495	5.91976	0.531812	18.2299	WADATOGE	8600	7.35
25	80号柱	4.49358	3.47747	10.283	4.15218	3.67765	0.655914	19.5573	OMBURA	7700	5.92
27	83号柱	8.10185	3.58992	11.737	3.79548	3.91949	0.532979	19.6683	ROSHIGAT	7600	5.96
28	83号柱	6.62058	3.22519	12.2868	4.04454	4.38274	0.481512	18.6123	ROSHIGAT	7500	5.96
29	83号柱	8.94233	9.90558	32.5109	4.83054	6.05841	0.519661	26.9856	WADATOGE	7600	7.18
30	83号柱	8.58343	2.96209	11.4192	3.24384	3.09483	0.451897	18.9492	ROSHIGAT	7500	5.71
31	83号柱	9.01455	9.97766	33.2316	4.80698	6.209	0.527983	27.5598	WADATOGE	13000	9.59
32	96号柱	8.26698	8.82822	31.3997	4.60743	5.02797	0.519332	26.5537	WADATOGE	5600	6.29
33	96号柱	6.03968	3.56452	11.5044	3.34535	3.06224	0.48915	19.5045	ROSHIGAT	3900	5.81
34	96号柱	6.03123	3.25534	11.5231	3.55446	3.16154	0.535017	17.7038	ROSHIGAT	3900	5.27
35	96号柱	8.58637	10	30.8222	4.8491	5.80119	0.568099	26.8386	WADATOGE	5900	6.07
36	96号柱	3.89612	4.01259	11.594	3.36062	3.05158	0.454588	19.1838	ROSHIGAT	5900	5.92
37	16号十坑	3.924	3.36217	11.6412	3.79499	3.15499	0.470971	18.0245	ROSHIGAT	8500	6.08
38	16号十坑	6.23445	3.13068	11.6015	3.60894	3.19959	0.518028	18.9831	ROSHIGAT	8500	6.45
39	168号十坑	7.54633	7.32825	27.9833	4.5628	4.51039	0.662821	30.8344	WADATOGE	4700	5.71
40	168号十坑	7.56585	7.23812	28.5314	4.48202	4.78674	0.561863	28.8124	WADATOGE	3900	5.45
41	243号土坑	6.35132	2.8903	12.0225	3.68607	3.16107	0.497021	18.3743	ROSHIGAT	8200	6.12
42	243号土坑	5.88271	2.30113	10.9548	3.78920	3.01658	0.527815	18.1142	ROSHIGAT	7700	5.82
43	243号土坑	6.3707	3.7821	12.2183	3.16133	3.28056	0.451299	19.327	ROSHIGAT	7700	5.92
44	243号土坑	6.23476	4.37915	12.2484	3.70118	3.28111	0.495031	18.8345	ROSHIGAT	7700	5.96
45	324号十坑	5.91645	3.45393	11.9281	3.77636	3.18853	0.511985	19.1206	ROSHIGAT	5100	1.82
46	324号十坑	6.29257	4.12	12.0451	3.62887	3.29006	0.486327	19.143	ROSHIGAT	8200	6.12
47	324号十坑	9.023	9.03	32.01	5.73	6.1	0.62	26.4	WADATOGE	5900	7.76
48	485号土坑	3.83764	4.17347	13.0874	1.81455	2.86133	0.298904	13.3333	ROSHIGAT	18100	7.76
49	485号土坑	8.74487	9.37241	32.4183	4.64461	6.82776	0.589535	27.9295	WADATOGE	3900	5.22
50	485号土坑	9.21561	9.00903	32.8189	5.62216	6.82546	0.699794	20.7058	WADATOGE	3900	3.14

新堀東源ヶ原遺跡

No.	出土位置	Sm	U	Th	Hf	Sc	Fe	La	Sr	年代	水相濃度
1	3号住	5.94586	3.38229	10.7298	3.0083	3.10214	0.567672	7.9791	FOSHIGAT	7710	5.92
2	5号住	8.90016	10.6121	26.0267	4.3486	5.78148	0.547538	23.103	WADATOG	3804	5.27
3	8号住	3.9844	4.01664	1.7959	2.65454	3.09567	0.432564	17.9195	FOSHIGAT	7196	5.96
4	10号住	3.70238	3.70238	1.70238	2.39238	3.10238	0.432564	17.9195	FOSHIGAT	7196	5.96
5	8号住	5.83166	3.26258	10.2393	2.56447	3.07728	0.386304	17.5458	FOSHIGAT	5989	5.92
6	10号住	5.81891	3.1488	10.7772	3.24237	3.10264	0.46149	16.8076	FOSHIGAT	26318	1.044
7	12号住	5.77772	3.80378	10.3102	3.39225	3.12066	0.506739	16.6668	FOSHIGAT	6222	5.38
8	13号住	6.00777	3.83327	11.1009	3.20635	3.23685	0.50253	20.1305	FOSHIGAT	19158	9.39
9	17号住	5.56383	3.03689	10.0479	2.9134	3.0756	0.411161	17.7085	FOSHIGAT	6222	5.31
10	19号住	5.75232	4.37721	10.4489	3.15132	3.15802	0.691031	17.1885	FOSHIGAT	11854	7.36
11	37号住	3.16889	8.85663	30.028	3.73079	5.927	0.501535	25.2936	WADATOG	4366	5.61
12	39号住	5.89402	3.87215	10.9329	3.05966	3.07223	0.659882	19.0254	FOSHIGAT	7196	5.71
13	40号住	6.0562	4.18674	11.3939	2.8562	3.13109	0.35127	17.0587	FOSHIGAT	7710	5.92
14	177号住	N.97912	10.2993	29.2525	4.74553	5.7873	0.567227	25.9055	WADATOG		
15	AI-43	6.04327	4.05228	10.9911	3.83808	3.33874	0.47116	18.9894	FOSHIGAT	6222	5.81
16	AJ-42	6.69551	4.47825	10.7393	2.97983	2.97628	0.495402	17.141	FOSHIGAT		
17	AJ-42	5.71905	4.67947	11.1969	3.69033	3.08751	0.4769	18.9681	FOSHIGAT	7451	3.94
18	He-43	5.86989	3.96237	10.5653	3.02779	3.09862	0.504943	17.6158	FOSHIGAT		
19	3c-43	5.85714	4.08255	11.1887	3.26028	3.27252	0.383551	17.9378	FOSHIGAT		
20	Bd-43	5.85458	4.38133	11.3021	3.1867	3.15164	0.494777	16.7494	FOSHIGAT		
21	Bd-43	5.96987	3.80879	10.9524	3.19431	3.13946	0.528256	17.9217	FOSHIGAT	12130	7.47
22	He-43	5.83313	4.39846	10.834	3.11093	3.18649	0.491122	17.3007	FOSHIGAT	12130	7.47
23	3c-44	5.95287	4.28173	10.93	3.30451	3.06069	0.475978	18.8074	FOSHIGAT	18910	28.88
24	Be-44	5.82559	3.31245	11.8491	3.11113	3.0662	0.54681	18.962	FOSHIGAT	4138	1.38
25	3i-42	6.11597	4.52582	11.0244	3.58544	3.25743	0.530259	17.6266	FOSHIGAT	22973	32.25
26	3i-43	5.74854	3.99727	11.2959	3.22206	3.05267	0.352001	17.8236	FOSHIGAT	6700	5.85
27	Be-44	6.53002	4.52562	11.027	2.85636	3.01859	0.57368	18.2583	FOSHIGAT	6222	5.71
28	Bg-44	5.9901	5.53886	11.2982	3.16404	3.40134	0.388927	16.1672	FOSHIGAT	29185	30.33
29	Hg-44	5.73944	3.99338	11.4295	2.58004	3.14808	0.543435	19.152	FOSHIGAT	7710	5.96
30	Bg 45-30	6.02498	4.94801	10.8129	2.67867	3.02836	0.54059	17.3859	FOSHIGAT	6946	5.63
31	3h-43-79	5.95168	6.04647	11.8256	3.01182	3.067	0.498282	17.9006	FOSHIGAT	6700	5.59
32	Bb-46	5.73547	3.59894	11.0801	3.06639	3.02173	0.421094	16.9316	FOSHIGAT		
33	3i-43	5.71396	3.91038	10.6275	2.85383	3.13734	0.472222	16.8294	FOSHIGAT		
34	Bc-47	5.84859	4.05099	11.0038	3.22298	3.25626	0.476675	19.1811	FOSHIGAT		
35	Da-46	5.75048	4.02332	9.89892	2.93273	3.07393	0.404793	18.4823	FOSHIGAT	4138	13.88
36	Dh-43	5.86955	3.96091	11.182	3.46236	2.96969	0.500762	18.3466	FOSHIGAT	5761	5.14
37	Dh-44	5.80842	3.60158	11.4221	2.89076	3.15491	0.438416	17.6233	FOSHIGAT	6222	5.31
38	Dc-44	6.66889	3.19967	10.7111	2.85805	3.00031	0.517333	18.026	FOSHIGAT	17848	8.9
39	Dc-48	6.09562	3.50261	11.5095	3.45597	3.29962	0.505931	18.9128	FOSHIGAT		
40	4e-46	6.09235	2.98357	11.4215	3.29918	3.15730	0.490211	17.8903	FOSHIGAT	6222	5.31
41	4e-47	5.84997	2.77347	11.4927	3.08807	3.22222	0.322222	18.2132	FOSHIGAT	21711	34.47
42	De-48	6.25056	3.58185	11.8308	3.61943	3.35687	0.511764	18.2984	FOSHIGAT	5989	5.22
43	Dd-48	5.96462	3.56659	11.756	3.46164	3.32611	0.496863	19.0395	FOSHIGAT	11483	7.27
44	4e-49	8.93932	9.21424	32.2189	4.21846	5.97251	0.549021	27.6633	WADATOG		
45	De-40	6.45052	3.76041	12.2655	3.2882	3.40038	0.471802	20.6056	FOSHIGAT		
46	Df-47	5.87848	2.59211	11.6152	3.00526	3.19093	0.366317	18.117	FOSHIGAT		

五料野ヶ久保遺跡(1)

No.	出土位置	Sm	U	Th	Hf	Sc	Fe	La	Sr	年代	水相濃度
1	1号香石	3.79194	4.00051	11.6883	3.86381	3.14611	0.631701	19.1656	FOSHIGAT	101291	23.67
2	1号彫石	5.85179	2.70806	11.5775	3.70995	3.09748	0.412648	18.7511	FOSHIGAT	7974	6.08
3	1号彫石	8.21108	8.11327	30.4327	4.62867	5.42566	0.469781	28.5788	WADATOG	2916	4.57
4	9号彫石	8.34388	3.24447	30.9596	4.59221	5.72966	0.541059	24.3216	WADATOG	3804	5.22
5	F-8	8.94581	10.2411	33.7625	4.85671	6.13429	0.562691	27.834	WADATOG	3318	4.82
6	F-8	6.09954	3.81838	12.2402	3.53585	3.19175	0.567067	19.1489	FOSHIGAT	5103	4.82
7	F-8	5.99197	3.82229	11.9333	3.53561	3.34026	0.447442	19.4669	FOSHIGAT	3032	3.76
8	F-9	7.13419	7.59277	27.1614	4.36657	4.34765	0.625791	13.9449	WADATOG	3318	4.82
9	F-9	8.57876	11.5949	32.8546	4.83737	6.01567	0.691023	27.1026	WADATOG	3468	4.9
10	F-9	5.82779	4.15873	11.1372	3.53699	3.16368	0.539026	18.9611	FOSHIGAT		
11	F-9	6.06667	3.95114	11.8797	3.89507	3.21473	0.498888	19.0284	FOSHIGAT	7974	6.04
12	F-9	8.33489	9.2561	30.7546	4.86502	6.38933	0.463512	36.2293	WADATOG	2788	4.41
13	F-9	8.45751	9.02061	31.3423	4.20684	5.12532	0.459634	25.7858	WADATOG	2916	4.57
14	F-9	9.03662	9.13625	38.9784	5.02936	6.85128	0.546659	27.9991	WADATOG	3468	4.9
15	F-9	6.20292	4.07076	12.1823	3.7324	3.28182	0.447555	19.4853	FOSHIGAT	7974	6.04
16	F-9	8.57876	11.5949	32.8546	4.83737	6.01567	0.691023	27.1026	WADATOG	4679	5.73
17	G-8	8.27567	8.23082	34.9222	4.99434	6.13281	0.623728	25.7485	WADATOG	3745	6.14
18	G-8	6.65343	4.01324	18.0326	3.45686	3.69254	0.338148	19.8223	FOSHIGAT	12480	7.59
19	H-9	8.60714	9.18726	28.2826	3.45866	5.57999	0.338911	26.1165	WADATOG	2540	4.25
20	G-8	8.77248	8.35469	31.0461	4.61547	5.85336	0.525755	30.4796	WADATOG	11480	8.08
21	G-8	8.1659	10.41	34.4433	5.62044	6.14598	0.541306	24.7173	WADATOG	3318	4.82
22	G-8	8.77105	10.0579	33.4913	3.61676	5.98267	0.338918	26.0808	WADATOG	4286	5.58
23	G-8	8.88336	4.69283	19.8461	3.23378	3.88472	0.466184	18.0335	FOSHIGAT	4286	4.41
24	G-8	5.98336	4.92525	10.9421	3.20234	3.05484	0.466184	18.0335	FOSHIGAT	4286	6.16
25	G-E 8-9	5.08039	10.381	34.5445	6.53713	6.19272	0.560474	27.516	WADATOG	8264	3.61
26	G-9	8.84545	9.55316	32.216	4.67916	5.96571	0.533975	25.2008	WADATOG		
27	G-9	6.12628	4.36342	12.1138	3.89868	3.49333	0.513136	20.4158	FOSHIGAT	3907	4.25
28	G-9	8.53793	8.59832	32.4559	5.34833	5.76122	0.495128	25.9212	WADATOG		
29	G-9	8.03462	8.99741	29.3642	3.80518	5.68732	0.468186	26.03	WADATOG		

五料野々久保遺跡(2)

No.	出土位置	Sm	Ti	Th	Hf	Sc	Fe	La	Sr	年代	水田層
30	G-9	5.56997	4.27523	10.3925	3.07428	3.10758	0.382209	17.0886	HOSHIGAT		
31	G-9	8.48083	10.323	30.4015	4.38989	8.79848	0.391514	26	WADATOG	2549	4.25
32	G-9	87.3229	12.0969	31.8906	4.30702	5.8821	0.548671	24.493	WADATOG	4845	4.28
33	G-9	6.56627	6.83379	20.9519	4.29413	5.72647	0.513719	24.9139	WADATOG	4759	5.71
34	G-10	7.0337	6.79372	25.239	3.8387	4.3774	0.772325	30.2802	OMEGURA		
35	G-10	8.65924	11.2028	33.7276	4.00659	5.75113	0.56208	26.5356	WADATOG	12456	9.39
36	H-8	8.93831	11.0436	31.3739	3.61389	6.07328	0.620303	26.8581	WADATOG	4356	5.55
37	H-8	8.90095	12.0442	31.6953	4.33777	5.89241	0.550489	28.8745	WADATOG	4579	5.71
38	H-8	8.2801	10.4217	28.1836	4.4465	5.67153	0.52326	25.253	WADATOG	4536	5.63
39	H-8	8.32402	9.94965	28.3473	3.76357	5.55668	0.482203	25.2986	WADATOG	4356	5.61
40	H-8	6.00748	6.50996	11.7118	2.62833	3.1795	0.611578	18.173	WADATOG	2788	4.41
41	H-8-9	8.6759	10.0333	28.9753	4.55026	5.62904	0.519456	25.4669	WADATOG	53.8	4.41
42	H-8-9	5.76849	4.71996	10.9046	3.06308	3.15286	0.28739	17.2507	HOSHIGAT	2788	4.41
43	H-8-9	8.3377	9.29383	26.6344	4.1713	5.62485	0.411147	25.528	WADATOG	3984	5.22
44	H-8-9	5.62482	3.71111	10.6454	2.99036	3.02321	0.462112	18.0519	HOSHIGAT	0.95	4.33
45	H-8-9	8.55902	10.7321	31.2651	4.8649	6.00474	0.588216	25.0778	WADATOG	4945	5.39
46	H-9	6.02059	4.7548	11.164	3.1759	3.07052	0.481296	17.8498	HOSHIGAT		
47	H-9	5.88015	3.99716	11.3843	3.33371	3.16361	0.437316	16.6207	HOSHIGAT	3198	3.8
48	H-9	8.33932	9.677	29.365	3.83227	5.69304	0.519456	24.9933	WADATOG	2788	4.41
49	H-9	6.06811	4.30665	10.7869	3.47337	3.19941	0.477128	18.6681	HOSHIGAT	3198	3.88

横川大林遺跡(1)

No.	出土位置	Sm	Ti	Th	Hf	Sc	Fe	La	Sr	年代	水田層
1	G-8	6.11368	3.11393	12.0664	3.23084	3.2306	0.519088	19.7896	HOSHIGAT	9943	6.74
2	G-8	7.94425	7.56578	32.4956	4.42866	3.70177	0.597291	28.4875	WADATOG		
3	G-8	8.33399	3.32568	12.2738	3.32577	3.28228	0.485836	19.78	HOSHIGAT	13476	7.84
4	G-8	6.0469	3.22255	11.4898	3.4056	3.33226	0.604479	18.6463	HOSHIGAT	11804	7.21
5	G-8	8.68057	8.5537	32.8432	5.08085	6.00611	0.591578	27.0464	WADATOG	6165	6.78
6	G-8	6.10484	3.7409	11.5798	3.39923	3.44418	0.543494	18.4111	HOSHIGAT		
7	G-8	8.59063	8.59892	31.2823	5.0142	5.60002	0.490136	26.4611	WADATOG	6085	6.53
8	G-8	7.9800	3.73254	13.2391	4.42486	5.23425	0.616054	29.89	WADATOG	6609	6.69
9	G-8	6.01855	3.76977	11.5879	2.84136	3.22294	0.536292	17.1151	HOSHIGAT	15476	7.84
10	H-7	8.33399	3.32568	12.2738	3.32577	3.28228	0.485836	19.78	HOSHIGAT	10546	6.68
11	H-7	7.90565	7.55068	30.9493	4.82514	3.11053	0.603807	30.2324	WADATOG	7260	7.14
12	H-7	6.03447	3.17018	11.3969	3.56827	3.24611	0.497473	18.715	HOSHIGAT		
13	H-7	6.42396	3.0668	11.8773	4.47838	3.88446	0.670852	31.1101	OMEGURA	8242	6.12
14	H-7	8.36428	8.16219	30.7485	4.2153	5.84914	0.59786	25.4172	WADATOG	5384	6.08
15	H-7	5.95312	6.12896	25.3261	5.43293	4.28636	0.666057	28.9906	OMEGURA		
16	H-7	5.93301	3.07729	10.2813	3.39417	3.19032	0.483824	17.8928	HOSHIGAT		
17	H-7	1.19622	8.47498	29.2914	3.96432	3.58574	0.461786	23.7788	WADATOG	7607	7.06
18	H-7	5.86906	2.42411	11.8761	3.72335	3.20809	0.511669	17.0552	HOSHIGAT		
19	H-7	6.82526	5.30632	24.1567	4.07702	4.06149	0.670383	30.2731	OMEGURA	13333	6.76
20	H-7	7.46635	7.25485	29.8591	4.43839	5.01745	0.659774	31.6982	WADATOG	6609	6.82
21	H-4	5.90899	3.2535	11.4492	3.11103	3.05638	0.438968	18.5877	HOSHIGAT		
22	H-4	7.22449	6.32349	27.9096	4.75914	4.79214	0.50661	30.3701	WADATOG	6273	6.61
23	H-4	8.59913	8.66701	31.8501	5.67491	6.09433	0.5393	26.0209	WADATOG	8101	7.89
24	H-4	8.43341	8.4638	31.5675	3.9588	5.89595	0.499488	25.4106	WADATOG	3062	6.65
25	H-4	8.33377	8.32568	31.1386	4.42554	5.25699	0.501680	26.5038	WADATOG	8539	7.31
26	H-4	7.92474	7.79754	31.7533	4.53300	3.86448	0.647488	30.0129	WADATOG	6465	6.74
27	H-4	5.88884	3.09765	10.6658	3.44251	3.19704	0.474208	15.4489	HOSHIGAT	12130	7.43
28	H-4	6.01309	5.96328	22.0324	3.8346	4.90927	0.383964	17.4307	WADATOG	5315	7.67
29	H-4	7.13705	3.58885	11.3988	5.7846	3.36299	0.20566	39.9062	YATSUGAT	7974	6.04
30	H-4	1.18361	3.20483	11.9187	3.47222	3.26622	0.531391	18.0938	HOSHIGAT		
31	H-4	8.61396	8.93631	30.1897	4.49738	5.71745	0.483484	26.0734	WADATOG	4845	5.28
32	H-4	5.91295	3.61728	11.4111	3.42592	3.26622	0.394469	18.2678	HOSHIGAT	14176	8.08
33	H-4	5.85545	3.27683	11.5217	3.54575	3.14717	0.518590	17.7897	HOSHIGAT		
34	H-4	7.49242	7.65989	29.022	4.34408	4.94137	0.629812	29.0531	WADATOG	8650	6.82
35	H-4	8.5927	8.73786	30.3468	4.41405	5.88277	0.32239	25.388	WADATOG	29041	14.29
36	H-4	6.46641	5.10887	21.2833	4.14483	3.74999	0.671133	30.3234	OMEGURA	12333	7.26
37	H-8	6.52887	4.34868	21.8956	5.09018	3.28622	0.690301	29.0125	OMEGURA	12794	7.63
38	H-8	6.55867	6.00699	22.2983	4.37145	4.06838	0.61832	30.2841	OMEGURA	12860	7.59
39	H-8	6.82046	3.91244	12.7709	3.60312	3.42037	0.464481	19.6115	HOSHIGAT	11804	7.21
40	H-8	8.83227	9.5098	31.38	3.2707	6.14153	0.55462	27.3331	WADATOG	6387	6.60
41	I-6	6.29665	3.17789	11.8741	3.48487	3.45724	0.51576	18.7822	HOSHIGAT	13133	7.26
42	I-6	6.28672	5.76442	34.6278	4.86593	6.67448	0.6212	27.738	WADATOG	14884	10.24
43	I-6	6.03417	8.26947	32.5044	4.73849	6.24903	0.594948	27.7881	WADATOG	6405	6.71
44	I-6	8.83788	8.87641	31.4501	4.83098	6.01138	0.480455	25.8408	WADATOG	9387	5.94
45	I-6	9.10078	10.1287	32.3605	4.91498	6.28743	0.599407	26.5906	WADATOG	6773	6.65
46	I-6	8.7976	9.38159	31.3561	4.70719	5.3817	0.5139	26.9191	WADATOG	6486	6.74
47	I-6	9.29411	10.5558	31.5654	4.85864	6.56685	0.54381	25.9838	WADATOG	9217	8.08
48	I-6	9.46391	9.8786	34.5660	4.90007	6.58827	0.610489	28.4082	WADATOG		
49	I-6	6.79655	6.65292	23.0564	4.16441	4.26316	0.614827	20.7747	OMEGURA	21274	9.8
50	I-6	7.02080	6.87462	25.1996	4.51366	4.2944	0.699263	31.2313	OMEGURA	8938	6.55
51	I-7	6.32538	3.98514	12.2912	3.57807	3.4167	0.530038	18.8894	HOSHIGAT	10546	6.94
52	I-7	9.18396	9.49057	32.6501	5.07438	6.28128	0.577203	27.2445	WADATOG	3716	5.27
53	I-7	8.66045	3.17303	36.3643	4.58707	6.34275	0.700392	27.3853	WADATOG	5716	5.33
54	I-7	6.30509	5.12719	20.9421	4.0881	3.86305	0.667694	30.6512	OMEGURA	5751	6.84

横川大林遺跡(2)

No.	出土位置	Sm	T	Th	Hf	Sc	Zr	La	Sr	年代	水和塩厚
55	I-7	6.07819	3.81435	1.8475	3.56882	3.32898	0.507142	18.9016	HOSEIGAT	9073	6.45
56	I-7	6.02798	4.03146	1.4739	3.01752	3.24289	0.510356	17.8261	HOSEIGAT	11804	7.35
57	I-7	6.70144	3.79126	12.1111	3.09233	3.33326	0.538548	19.2689	HOSEIGAT	10546	6.94
58	I-7	6.52042	4.47025	20.862	3.08369	3.27762	0.483942	18.3651	HOSEIGAT	7770	6.92
59	I-7	9.37435	3.80272	33.2842	4.84118	6.67765	0.584661	27.4327	WADATOG	5013	5.96
60	I-7	7.76517	8.21522	29.3011	4.44544	5.04022	0.613919	29.6829	WADATOG	6465	6.74
61	I-8	8.71558	8.62915	30.9603	5.38081	5.9665	0.592464	30.7221	WADATOG	7886	7.43
62	I-8	6.29424	3.83468	2.82329	3.60741	3.5678	0.444398	16.7278	HOSEIGAT	8791	6.33
63	I-8	8.41326	7.76476	33.2942	4.42496	5.59272	0.56363	30.8319	WADATOG	7386	7.43
64	I-8	6.22951	3.52234	12.5308	3.42856	3.33294	0.500819	17.7628	HOSEIGAT	11894	7.39
65	I-8	5.88462	3.42091	1.5466	3.08369	3.27762	0.483942	17.7618	HOSEIGAT	10854	7.06
66	I-8	8.8257	7.96422	32.1163	4.6383	7.61881	0.893157	26.9862	WADATOG	5184	6.04
67	I-8	6.19429	4.85889	12.1287	2.90511	3.28306	0.481066	18.1042	HOSEIGAT	15597	26.53
68	I-8	7.80403	7.24279	31.0447	4.5688	5.18073	0.587284	28.4511	WADATOG	6689	6.82
69	I-8	9.15704	9.42784	33.5913	1.6333	6.40784	0.481105	26.536	WADATOG	5716	6.23
70	I-8	6.25537	3.62807	11.5897	4.2695	3.42516	0.499886	16.8374	HOSEIGAT	8791	6.33
71	J-8	8.86897	8.46333	33.0033	4.50114	6.1923	0.510423	26.2726	WADATOG	5716	6.37
72	J-8	5.9437	3.44042	1.83358	3.05992	3.33972	0.484888	17.7294	HOSEIGAT	9943	6.78
73	J-8	9.14184	7.81775	34.1013	5.22208	6.8373	0.511494	25.8857	WADATOG	6629	6.86
74	J-8	6.10963	4.31885	12.0313	2.89896	3.3238	0.47756	16.4838	HOSEIGAT	9649	6.61
75	J-8	7.89489	8.12964	30.575	4.47878	4.7635	0.614596	28.7629	WADATOG	7057	7.02
76	J-8	8.04366	7.66871	31.334	4.92311	5.84901	0.573742	32.7774	WADATOG	7057	7.02
77	J-8	8.5243	8.37446	32.4524	4.67336	6.13614	0.521623	25.4215	WADATOG	7057	7.06
78	J-8	8.93826	8.98328	39.9444	4.88887	6.20311	0.534005	27.0629	WADATOG	6273	6.69
79	J-8	7.32452	5.92848	26.0935	5.14971	4.51643	0.626823	30.1493	WADATOG	8816	7.67
80	J-8	6.01696	3.47823	12.2579	3.52959	3.191	0.531898	18.3494	HOSEIGAT	8791	6.37
81	K-6	5.87131	3.61815	1.8063	3.87745	3.30618	0.566058	16.6319	HOSEIGAT	9649	6.78
82	K-6	8.82022	8.85674	33.3409	4.99193	5.9655	0.544483	25.252	WADATOG	5336	6.2
83	K-6	8.64658	8.46483	32.1543	4.90868	5.97106	0.550499	24.7145	WADATOG	4516	6.83
84	K-6	6.03174	3.99903	11.9452	3.23455	3.25531	0.413818	18.1054	HOSEIGAT	9649	6.65
85	K-6	7.60467	8.3351	29.8411	5.6465	4.97611	0.599491	30.3654	WADATOG	6867	6.98
86	L-6	8.28455	8.55748	31.2691	4.93939	6.00425	0.537806	23.729	WADATOG	5716	6.37
87	L-6	5.98385	3.32658	12.3133	3.6545	3.24925	0.485134	18.4817	HOSEIGAT	9356	6.53
88	L-6	7.72754	7.81321	32.3107	4.34844	5.26737	0.599363	29.9494	WADATOG	7426	7.27
89	L-6	6.22771	3.69174	12.5493	3.53059	3.30784	0.535911	17.9518	HOSEIGAT	10854	7.06
90	L-6	5.89723	3.60684	11.833	3.60864	3.19272	0.460879	17.8317	HOSEIGAT		
91	L-7	6.1586	4.34829	11.9485	3.89491	3.11003	0.52061	19.1654	HOSEIGAT	12130	7.47
92	L-7	8.3036	9.63144	32.478	4.4422	5.3485	0.614592	30.0874	WADATOG	7057	7.06
93	L-7	6.03484	3.77957	12.128	3.34494	3.07828	0.535985	17.2674	HOSEIGAT	10242	6.82
94	L-7	6.67831	5.52916	21.3102	4.27888	3.76938	0.747651	33.2681	OM FURU	9649	6.65
95	L-7	8.42752	10.6245	31.8462	4.87030	5.64975	0.54189	26.0331	WADATOG	19380	11.63
96	185号土塊	7.82997	9.46983	30.3333	5.51922	4.93894	0.662184	30.3761	WADATOG		
97	185号土塊	8.68075	10.5092	31.3102	5.12111	5.77321	0.481086	30.1493	WADATOG	5013	
98	185号土塊	8.94545	10.3009	33.3334	5.07323	6.0389	0.620405	27.2249	WADATOG		
99	185号土塊	5.95774	4.63369	11.8681	2.92599	3.19632	0.549979	18.227	HOSEIGAT		
100	185号土塊	8.44792	10.0594	31.7152	4.88661	5.717	0.505123	24.3762	WADATOG	22885	

抄 録

フリガナ	オクナダニホンスギイセキ (ヤシロミナミイセキ)
書名	行田二本杉遺跡 (八城南遺跡)
副書名	関越自動車道 (上越線) 地埋蔵文化財発掘調査報告書
編著者名	長井正欣・飯塚 聡・田口 修・千田幸生
編集機関	山武考古学研究所 / 〒286 千葉県成田市並木町221番地
発行機関	日本道路公団・群馬県教育委員会・松井田町遺跡調査会
発行年月日	西暦1997年3月31日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
行田二本杉 遺跡	群馬県津波郡松井田町 大字行田字二本杉原東	10401		36° 17' 38"	138° 47' 58"	19880809 ～ 19880930	9,000 m ²	関越自動車道 (上越線) 建設 工事
行沢二本杉 遺跡	群馬県津波郡妙義町 大字行沢字二本杉	10381						
中里原遺跡	群馬県津波郡妙義町 大字菅原字中里							

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
行田二本杉 遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡	2軒	前期土器 (黒浜式)、 石器類	
行沢二本杉 遺跡		古墳時代	住居跡	3軒	土師器、吉ヶ谷系土器、樽式系 土器、土製紡錘車	古墳時代初頭の住 居跡
中里原遺跡		時期不明	土坑	1基		

写 真 图 版

PL2



遺跡全景（上が北）



遺跡の位置と周辺の地形



3号住居跡 (東→)

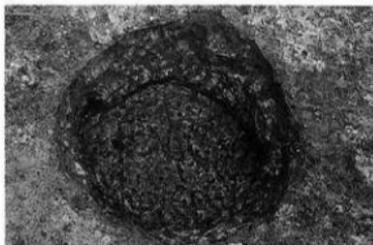


4号住居跡 (南西→)

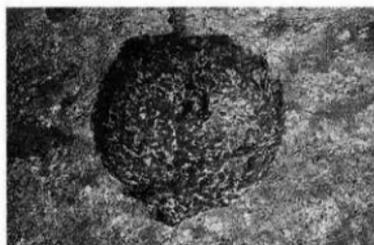
PL4



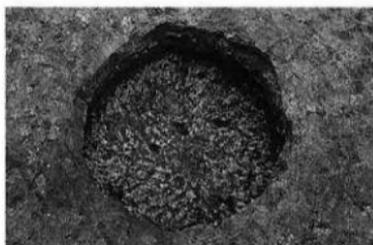
1号集石土坑 (南→)



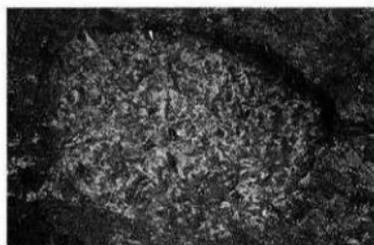
1号集石土坑完掘 (南→)



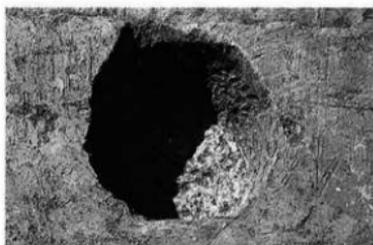
1号土坑 (西→)



2号土坑 (北東→)



3号土坑 (南→)



4号土坑 (北→)



5号土坑 (南→)



基本土层 (西→)



5号住居跡 (南→)



5号住居跡・炉跡 (南→)



6号住居跡土層 (北西→)



6号住居跡遺物出土状態 (南西→)



6号住居跡 (南東→)

PL6



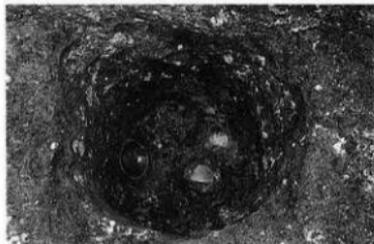
2号住居跡遺物出土状態全景(北→)



2号住居跡(北→)



2号住居跡・炉跡(北→)



同・貯蔵穴(北→)



同・遺物出土状態①(西→)



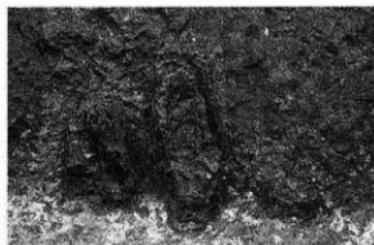
同・遺物出土状態②(東→)



同・遺物出土状態③(北→)



同・遺物出土状態④(北→)

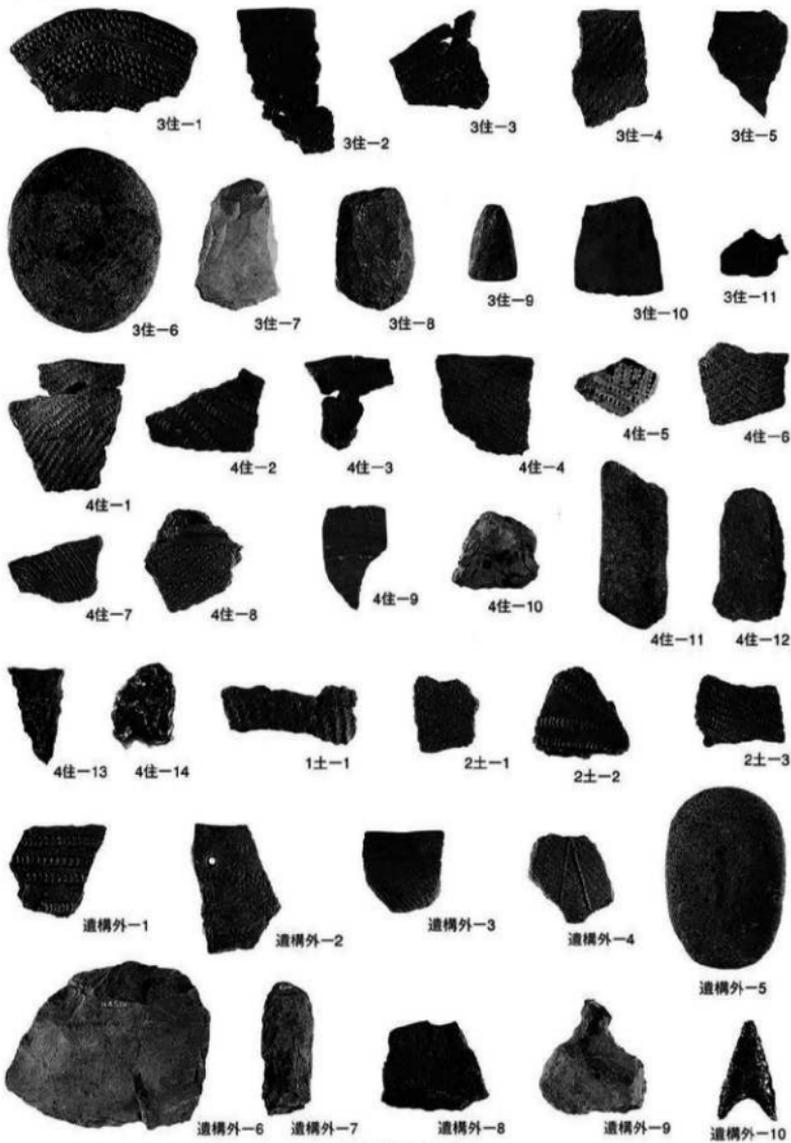


同・炭化材検出状態①(西→)

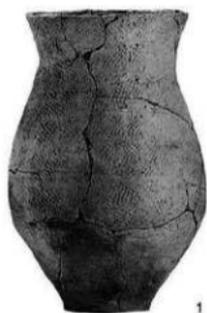


同・炭化材検出状態②(北→)

PL 8



縄文時代出土遺物



1



2



3



6



4



5



7



8



9



11



10



12



13



14



15

2号住居跡出土遺物①



16

17

18



19



20



21

2号住居跡出土遺物②



1



2

5号住居跡出土遺物



1



2



4



3



5



7



6

6号住居跡出土遺物

行田二本杉遺跡

(八城南遺跡)

- 関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 -

印刷 平成9年3月20日

発行 平成9年3月31日

編集 山武考古学研究所

発行 日本道路公団

群馬県教育委員会

松井田町遺跡調査会

印刷 樹文化総合企画

千葉県印旛郡富里町日吉台1-23-12

☎(0476)93-0593